

事務事業評価票(平成24年度決算評価)

平成 25 年 5 月 31 日 現在

1 事務事業の基本情報

事務事業名	生涯学習推進事業		事務事業番号	1021010	
総合計 画 策 体 系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	担当部課名	社会教育部生涯学習課
	目標とする10年 後の戸屋の姿	2	多様な文化・スポーツ・芸術・伝統が交流するまちで、戸屋の文化があふれている		
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある	課長名	長岡 一美
事務の区分	自治事務		実施期間		
実施区分	直営,委託		会計区分	一般会計	
根拠法令等	教育基本法、生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律、戸屋市生涯学習出前講座実施要綱				

2 事務事業の概要等

事務事業の 対象・意 図	対象	一般市民			
	意図	生涯学習の推進			
大きな目的	生涯学習の推進を図る。				
全体概要	<input type="checkbox"/> 生涯学習出前講座を実施 <input type="checkbox"/> 事業委託によりオープンカレッジを実施 <input type="checkbox"/> 富田碎花顕彰事業の実施 <input type="checkbox"/> 地域子育て関連事業				
委託・指定管理者 制度の導入等	<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度を導入	委託先等の名称		
委託内容等					
産学協働連携 をしていますか	<input checked="" type="checkbox"/> 連携あり	<input type="checkbox"/> 連携なし	連携先	県立戸屋国際高校	

3 事務事業の経費

事業費 内訳 (千円)	構成(%)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	平成24年度決算について	
					住民1人当たり(円)	
人件費	81%	5,420	3,660		46.89	
事業費	19%	1,602	843	948	103.44	
他部門経費						
減価償却費						
合計	100%	7,022	4,503	948		
国費						
県費		890				
市債						
その他						
一般財源	100%	6,132	4,503	948		
合計	100%	7,022	4,503	948		
活動費	63%	0.80	0.40			
職員・臨職等	38%	0.24	0.24			
合計	100%	1.04	0.64	0.00		

4 平成24年度の実施内容

24年度目標	・生涯学習出前講座の内容整理 ・学校地域連携促進事業の成果を今後の連携体制構築につなげる
(1) 平成24年度の実施内容(実績値, 達成状況, 事業費(決算)の内訳など)	<p>事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。 単位(例:人, 千円など)は、必ず明示してください</p> <p>・生涯学習出前講座(62講座)の実施 49回 ・県立国際高校オープンカレッジ運営委員会に事業委託し合計8回の講座を実施(100千円) ・富田碎花顕彰会事業の実施支援(599千円) ・地域子育て事業として人材育成研修会1回(参加35名) ・地域子育て事業連絡協議会4回活動回団体数4校活動事業日数延べ290日活動参加者延べ約1,900人</p>
(2) 平成24年度の改善内容	<p>単位(例:人, 千円など)は、必ず明示してください。</p> <p>平成23年度で終了した学校地域連携促進事業から波及してきた学校地域連携の組織に対し、活動が継続かつ、より円滑に行える為の支援として、人材育成研修会や連絡協議会を行った。</p>

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 事業実施に妥当性があるか (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠または貢献度が高い <input type="checkbox"/> 貢献度が不明確、または高くない
理由	出前講座をはじめ、各事業を実施することにより、生涯学習の機会を提供し、また行政への市民参画意識の啓発に繋がった。
(2) 市が実施すべきものか、民間で対応可能か。	<input checked="" type="checkbox"/> 市が行うもの <input type="checkbox"/> 民間で対応可能 <input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている
理由	行政として生涯学習の機会を提供し、市民が自主的に活動を活発に継続していくためのきっかけづくり等の手助けはすべきである。
(3) 目標に対して達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 概ね達成した <input type="checkbox"/> 一部達成した <input type="checkbox"/> ほとんど達成していない
理由	生涯学習出前講座の内容整理を行い、かつ学校地域の連携組織構築の足がかりができた。
(4) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	<input type="checkbox"/> 改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ある程度改善の余地がある <input type="checkbox"/> ほとんど改善の余地はない
理由	出前講座の実施機関を社会教育関係団体にも広げることや、担当窓口となっている生涯学習課職員が各講座実施時に同席しているが、特に重要な役割がない場合は講座担当課に任せざることを検討する。

6 課題への対応・方向性

(1) 現在認識している課題
異文化理解・異文化共生能力の育成を図るためおこなっている戸屋国際高校オープンカレッジに代わる企画の検討をする。
審査員の高齢化や費用について問題が多い富田碎花賞のあり方について検討する。

7 部長の2次評価

部長名 中村 尚代
事業の対象や内容がそれぞれで異なり多角的ですが、各事業においては、市民ニーズや事業の必要性を重視し、公益性のある時代に適した事業実施に努めてください。

(2) 市民、関係者からの要望等

誰から	内容

(3) 平成25年度の目標・改善内容(数値目標含む)

・生涯学習出前講座の内容整理及び充実 ・学校地域連携組織の活動の充実化に向けた支援

(4) 平成26年度以降の改善・方向性

・生涯学習出前講座の内容整理及び充実 ・学校地域連携組織の活動の充実化に向けた支援
・富田碎花賞のあり方について検討する

- 拡大・充実
- 見直し
- 廃止・統合
- 現状維持
- 民間委託

事務事業評価票(平成24年度決算評価)

平成 25 年 5 月 31 日 現在

1 事務事業の基本情報

事務事業名	コミュニティ・スクール関係			事務事業番号	1021020
総合計画 基本 策 画 系 統	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	担当部課名	社会教育部生涯学習課
	目標とする10年 後の戸屋の姿	2	多様な文化・スポーツ・芸術・伝統が交流するまちで、戸屋の文化があふれている		
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある	課長名	長岡 一美
事務の区分	自治事務	実施期間			
実施区分	直営	会計区分		一般会計	
根拠法令等	戸屋市コミュニティ・スクール推進要綱				

2 事務事業の概要等

事務事業の 目的 対象・意 図	対象	地域住民
	意図	コミュニティ・スクールの運営を、地域の住民が自主的に運営できるよう側面から支援する。
大きな目的	地域住民の組織的な活動をより活発にする。	
全体概要	<input type="checkbox"/> 市内各コミュニティ・スクールの自主的な運営のための経費を一部補助する。 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクールの活動に対する支援 <input type="checkbox"/> 活動の拠点として小学校の施設を開放	
委託・指定管理者 制度の導入等	<input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度を導入	委託先等の名称
委託内容等		
産学協働連携 をしていますか	<input type="checkbox"/> 連携あり <input checked="" type="checkbox"/> 連携なし	連携先

3 事務事業の経費

事業費	構成(%)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	平成24年度決算について
内訳(千円)					住民1人当たり(円) 78.49
人件費	59%	4,784	4,460		1世帯あたり(円) 173.16
事業費	41%	2,809	3,078	3,389	人口 96,036
他部門経費					世帯数 43,533
減価償却費					
合計	100%	7,593	7,538	3,389	平成24年4月1日現在の 住民基本台帳と外国人登録の合計 特記事項・備考
財源(千円)					
国費					
県費					
市債					
その他					
一般財源	100%	7,593	7,538	3,389	
合計	100%	7,593	7,538	3,389	
活動費	87%	0.55	0.55		
職・嘱託・臨職等	13%	0.08	0.08		
配分(人)					
合計	100%	0.63	0.63	0.00	

4 平成24年度の実施内容

24年度目標	各コミュニティ・スクールの補助金に係る会計処理の適正化を図る。 ・各コミュニティ・スクール活動拠点の施設整備を年次的に計画し実施する。
(1) 平成24年度の実施内容(実績値, 達成状況, 事業費(決算)の内訳など)	事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。 単位(例:人, 千円など)は、必ず明示してください ・夏祭り, 文化活動発表会など地域に開かれた活動を実施 ・人材育成研修会を開催 ・コミュニティ・スクール登録団体数302団体(平成24年度) ・コミュニティ・スクール連絡協議会への補助金 118千円 ・9コミュニティ・スクールへの補助金 各270千円
(2) 平成24年度の改善内容	各コミュニティ・スクール活動拠点の施設整備を年次的に計画し実施した。 単位(例:人, 千円など)は、必ず明示してください。

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 事業実施に妥当性があるか(複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠または貢献度が高い <input type="checkbox"/> 貢献度が不明確、または高くない
理由	地域住民による活発な活動を支援することは、地域主体のまちづくりに必要不可欠である。
(2) 市が実施すべきものか、民間で対応可能か。	<input checked="" type="checkbox"/> 市が行うもの <input type="checkbox"/> 民間で対応可能 <input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている
理由	地域活動としての各コミュニティ・スクールの活動支援であるため。
(3) 目標に対して達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 概ね達成した <input type="checkbox"/> 一部達成した <input type="checkbox"/> ほとんど達成していない
理由	各コミュニティ・スクールの施設整備について計画をたて、実施することができた。
(4) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	<input type="checkbox"/> 改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ある程度改善の余地がある <input type="checkbox"/> ほとんど改善の余地はない
理由	各コミュニティ・スクールへの補助金に係る会計処理の適正化。

6 課題への対応・方向性

(1) 現在認識している課題	各コミュニティ・スクールの補助金に係る会計処理の適正化を図る。	部長名 中村 尚代 コミスク連絡協議会を中心とした連絡調整や活動拠点の施設整備を順次行うなど、円滑な事業運営のための支援ができたものと評価します。
(2) 市民、関係者からの要望等		
誰から	内容	
(3) 平成25年度の目標・改善内容(数値目標含む)	各コミュニティ・スクールの補助金に係る会計処理の適正化を図る。	
(4) 平成26年度以降の改善・方向性	各コミュニティ・スクールの補助金に係る会計処理の適正化を図る。	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合

事務事業評価票(平成24年度決算評価)

平成 25 年 5 月 31 日 現在

1 事務事業の基本情報

事務事業名	三条分室及び三条デイサービスセンターの維持管理			事務事業番号	1021025
総合計画 基本計画 体系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	担当部課名	社会教育部生涯学習課
	目標とする10年 後の声屋の姿	2	多様な文化・スポーツ・芸術・伝統が交流するまちで、声屋の文化があふれている		
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある	課長名	長岡 一美
事務の区分	自治事務	実施期間			
実施区分	直営、委託	会計区分		一般会計	
根拠法令等					

2 事務事業の概要等

事務事業の 目的 対象・意図	対象	地域住民			
	意図	声屋市役所三条分室及び三条デイサービスセンターの維持管理。			
大きな目的	利用者が安心快適に利用できるようにする。				
全体概要	(三条分室及び三条デイサービスセンターの維持管理) <input type="checkbox"/> 施設補修(三条分室:三条コミスク事務室、会議室) <input type="checkbox"/> 各設備等保守点検(文化財事務室、倉庫) <input type="checkbox"/> 清掃 <input type="checkbox"/> 夜間機械警備				
委託・指定管理者 制度の導入等	<input checked="" type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度を導入	委託先等の名称	三条地域協議会、セコムなど	
委託内容等	施設の維持管理、機械警備などの保守点検業務				
産学協働連携 をしていますか	<input type="checkbox"/> 連携あり	<input checked="" type="checkbox"/> 連携なし	連携先		

3 事務事業の経費

事業費	構成(%)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	平成24年度決算について
内訳(千円)					住民1人当たり(円) 44.76
人件費	35%	1,727	1,525		1世帯あたり(円) 98.75
事業費	65%	2,889	2,774	3,700	人口 96,036
他部門経費					世帯数 43,533
減価償却費					平成24年4月1日現在の 住民基本台帳と外国人登録の合計
合計	100%	4,616	4,299	3,700	特記事項・備考
財源(千円)					
国費					
県費					
市債					
その他		1,257			
一般財源	100%	3,359	4,299	3,700	
合計	100%	4,616	4,299	3,700	
活動配分(人)					
職員	100%	0.76	0.30		
嘱託・臨職等	0%	0.24	0.00		
合計	100%	1.00	0.30	0.00	

4 平成24年度の実施内容

24年度目標	継続実施
(1) 平成24年度の実施内容(実績値、達成状況、事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください 三条分室、コミスク室、会議室等の施設管理及び消防設備等の保守点検 施設内清掃、樹木等への散水、除草、ごみの搬出、駐車場管理、施設内巡回による安全点検などを地元の「三条地域協議会」に委託	
(2) 平成24年度の改善内容 継続実施 単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください。	

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 事業実施に妥当性があるか(複数回答可)	
理由	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠または貢献度が高い <input type="checkbox"/> 貢献度が不明確、または高い
理由	地域の活動拠点のひとつとしての施設を維持管理することで、市民の社会教育活動等を支援する。
(2) 市が実施すべきものか、民間で対応可能か。	
理由	<input checked="" type="checkbox"/> 市が行うもの <input type="checkbox"/> 民間で対応可能 <input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている
理由	非営利的な施設管理であり、市民の社会教育活動等を支援するため。
(3) 目標に対して達成できたか。	
理由	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 概ね達成した <input type="checkbox"/> 一部達成した <input type="checkbox"/> ほとんど達成していない
理由	地元の協力を得て、維持管理を行うことが出来た。
(4) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	
理由	<input type="checkbox"/> 改善の余地がある <input type="checkbox"/> ある程度改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ほとんど改善の余地はない
理由	地元の協力で、経費的には低額で抑えられているため

6 課題への対応・方向性

(1) 現在認識している課題	部長名 中村 尚代
・受水槽に少量であるが漏水がある。 ・エアコンが開設時からのもので、老朽化が進んでいる。 ・構内電話に不具合が出ている。(ノイズや通話が途中で切れる。)	地域の協力を得ながら、効率的に配分予算の中で、適正に事務執行されていると評価します。 今後、補修等の必要性が高くなることが考えられますが、市の長期保全計画に基づき、地域の協力者との連絡・情報交換を密にして、施設の長寿命化を意識した適正な維持管理に努める必要があると考えます。
(2) 市民、関係者からの要望等	誰から 内容
(3) 平成25年度の目標・改善内容(数値目標含む)	長期保全計画に基づき、予算の範囲内で、施設の長寿命化を意識した維持管理に努める。
(4) 平成26年度以降の改善・方向性	長期保全計画に基づき、予算の範囲内で、施設の長寿命化を意識した維持管理に努める。
	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合

事務事業評価票(平成24年度決算評価)

1 事務事業の基本情報 平成 25 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	一般社会教育管理		事務事業番号	1021030	
総合計画 基本 策 画 系 統	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	担当部課名	社会教育部生涯学習課
	目標とする10年 後の戸屋の姿	2	多様な文化・スポーツ・芸術・伝統が交流するまちで、戸屋の文化があふれている		
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある	課長名	長岡 一美
事務の区分	自治事務		実施期間		
実施区分	直営		会計区分	一般会計	
根拠法令等 概要	社会教育法				

2 事務事業の概要等

対象	市民全般				
事務事業の 対象・意 図	地域における必要な課題学習や課題解決活動が推進しやすくなるように、様々な学習活動の機会の充実のための支援を行う。				
大きな目的	社会教育行政の推進を図る。				
全体概要	<input type="checkbox"/> 社会教育行政の推進 <input type="checkbox"/> 社会教育活動への地域住民の参画、協働の推進 <input type="checkbox"/> 地域の課題解決に係る活動や地域づくり、地域の教育力向上に資する活動				
委託・指定管理者 制度の導入等	<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度を導入	委託先等の名称		
委託内容等					
産学協働連携 をしていますか	<input type="checkbox"/> 連携あり	<input checked="" type="checkbox"/> 連携なし	連携先		

3 事務事業の経費

事業費	構成(%)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	平成24年度決算について
人件費	90%	4,013	2,735		住民1人当たり(円) 31.58
事業費	10%	312	298	397	1世帯あたり(円) 69.67
他部門経費 減価償却費					人口 96,036
合計	100%	4,325	3,033	397	世帯数 43,533
国費					平成24年4月1日現在の 住民基本台帳と外国人登録の合計
市費					特記事項・備考
その他 一般財源	100%	4,325	3,033	397	
合計	100%	4,325	3,033	397	
活動 配分 (人)					
職員	65%	0.60	0.30		
嘱託・臨職等	35%	0.16	0.16		
合計	100%	0.76	0.46	0.00	

4 平成24年度の実施内容

24年度目標	のびのびパスポートの配布時期を見直し、利用促進を図る
(1) 平成24年度の実施内容(実績値、達成状況、事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください	神戸市、西宮市、宝塚市、三田市、明石市、洲本市、南あわじ市、淡路市、鳴門市、徳島市の87教育関連施設が利用できる「のびのびパスポート」を市内在住の小・中学生約8000人に4月に配布。
(2) 平成24年度の改善内容	のびのびパスポートの利用促進のため配布時期を見直し 単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください。

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 事業実施に妥当性があるか (複数回答可)

事業の主目的は明確である 事業成果が上位施策に不可欠または貢献度が高い 貢献度が不明確、または高くない

理由: のびのびパスポートについては、市内在住の小・中学生を対象に近隣の文化施設等への入場が無料となるのびのびパスポートを配布することにより、子どもたちの施設訪問、ひいては社会教育との関わりを促す

(2) 市が実施すべきものか、民間で対応可能か。

市が行うもの 民間で対応可能 他団体では見直しが行われている

理由: のびのびパスポートについては単独施設ではなく、総合的により多くの施設で行う必要があるため

(3) 目標に対して達成できたか。

達成した 概ね達成した 一部達成した ほとんど達成していない

理由: 例年どおり配布し、一定の利用者はあったため

(4) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。

改善の余地がある ある程度改善の余地がある ほとんど改善の余地はない

理由: のびのびパスポートについてもPR等、工夫できると考える。また、担当職員のスキルアップを更に行うことも必要であると考えているため。

6 課題への対応・方向性

(1) 現在認識している課題

市内在住の小・中学生を対象に、のびのびパスポートを配布しているが、その目的や利用方法等が十分に保護者等に周知されていないと思われるので、理解を得、利用促進につながるようなPR方法を検討する。

(2) 市民、関係者からの要望等

誰から	内容

(3) 平成25年度の目標・改善内容(数値目標含む)

のびのびパスポートの利用促進のためのPR方法を検討する。
研修参加等を通じ、社会教育関係職員のスキルアップを図る。

(4) 平成26年度以降の改善・方向性

25年度の検証を行い、さらなる、のびのびパスポートの利用促進のための方法を検討する。
社会教育主事講習やその他研修等への積極的な参加も検討する。

7 部長の2次評価

部長名 | 中村 尚代

社会教育において、様々な切り口がある中で、順次改善と検証を行い、より良い結果につながるように工夫を重ねることは大切なことと考えます。
「のびのびパスポート」の配布は児童の感性を育成する機会の提供となるため、引き続き取り組みを要するものと考えます。

○ 拡大・充実 ● 現状維持
○ 見直し ○ 民間委託
○ 廃止・統合

事務事業評価票(平成24年度決算評価)

1 事務事業の基本情報 平成 25 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	社会教育関係団体支援・育成事業		事務事業番号	1021040	
総合計画 基本計画 画 画 系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	担当部課名	社会教育部生涯学習課
	目標とする10年 後の戸屋の姿	2	多様な文化・スポーツ・芸術・伝統が交流するまちで、戸屋の文化があふれている		
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある	課長名	長岡 一美
事務の区分	自治事務		実施期間		
実施区分	直営		会計区分	一般会計	
根拠法令等	文化芸術振興基本法、戸屋市社会教育関係団体の登録に関する規則				

2 事務事業の概要等

事務事業の 目的 対象・意図	対象	社会教育関係団体の活動が活発になり、もって市民の文化力の向上につながる			
	意図	社会教育活動を活発にするための援助、資料収集及び活動の支援を行う。			
大きな目的	社会教育関係団体の活動の支援等				
全体概要	<input type="checkbox"/> 社会教育関係団体の登録 <input type="checkbox"/> 社会教育関係団体への支援				
委託・指定管理者 制度の導入等	<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度を導入	委託先等の名称		
委託内容等					
産学協働連携 をしていますか	<input type="checkbox"/> 連携あり	<input checked="" type="checkbox"/> 連携なし	連携先		

3 事務事業の経費

事業費	構成(%)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	平成24年度決算について	
人件費	77%	2,918	5,496		住民1人当たり(円)	74.16
事業費	23%	1,742	1,626	2,742	1世帯あたり(円)	163.60
他部門経費					人	96,036
減価償却費					世帯数	43,533
合計	100%	4,660	7,122	2,742	平成24年4月1日現在の 住民基本台帳と外国人登録の合計	
国費					特記事項・備考	
市債						
その他						
一般財源	100%	4,660	7,122	2,742		
合計	100%	4,660	7,122	2,742		
活動	職員	0.30	0.80			
配分	嘱託・臨職等	0.08	0.08			
(人)	合計	0.38	0.88	0.00		

4 平成24年度の実施内容

24年度目標	補助や減免等の支援の対象団体であることを再認識させ、団体活動の活動内容及び予算執行についての適正化を図る
(1) 平成24年度の実施内容(実績値、達成状況、事業費(決算)の内訳など)	<p>事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください</p> <p>・社会教育関係団体の一斉登録を実施した。323団体 ・社会教育関係団体の追加登録を実施した。市PTA協議会等12団体への事業運営支援として補助金を交付した。(総額1565千円)</p>
(2) 平成24年度の改善内容	<p>単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください。</p> <p>社会教育委員の会議での意見をもち、戸屋市社会教育関係団体登録申請要領の一部を改正した。</p>

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 事業実施に妥当性があるか (複数回答可)

事業の主目的は明確である 事業成果が上位施策に不可欠または貢献度が高い 貢献度が不明確、または高くない

理由 市民文化の向上、ひいては、芸術文化へと発展してゆくための、文化力の向上には社会教育関係団体の活発な活動が欠かせないため。

(2) 市が実施すべきものか、民間で対応可能か。

市が行うもの 民間で対応可能 他団体では見直しがされている

理由 補助や減免等の支援内容は見直しの余地はあるが、市全体としての文化力の向上、文化振興のためであるため。

(3) 目標に対して達成できたか。

達成した 概ね達成した 一部達成した ほとんど達成していない

理由 登録の一斉更新も323団体が行い、活発に活動を行っているため。

(4) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。

改善の余地がある ある程度改善の余地がある ほとんど改善の余地はない

理由 各登録団体に、その求められる役割を十分理解していただき、活動内容及び予算執行のより適正化を図る。

6 課題への対応・方向性

(1) 現在認識している課題

登録団体自身が、本来の目的や求められているものを十分に理解しているとはいえないと思われるため、それらの理解と補助や減免等の支援の対象団体であることを再認識させ、団体活動の活動内容及び予算執行についての適正化を図る。

(2) 市民、関係者からの要望等

誰から	内容

(3) 平成25年度の目標・改善内容(数値目標含む)

社会教育関係登録団体の果たすべき役割の理解や、補助や減免等の支援の対象団体であることを再認識させ、団体活動の活動内容及び予算執行についての適正化を図る。

(4) 平成26年度以降の改善・方向性

社会教育関係登録団体の果たすべき役割の理解や、補助や減免等の支援の対象団体であることを再認識させ、団体活動の活動内容及び予算執行についての適正化を図る。

7 部長の2次評価

部長名 中村 尚代

戸屋市社会教育関係団体登録申請要領の見直しは今後の社会教育関係団体としての活動内容の適正化に向けての取り組みとして評価します。

団体等には、引き続き丁寧かつ根強い説明と助言を要するものと考えます。

○ 拡大・充実 ● 現状維持
 ○ 見直し ○ 民間委託
 ○ 廃止・統合

事務事業評価票(平成24年度決算評価)

1 事務事業の基本情報 平成 25 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	社会教育委員活動		事務事業番号	1021050	
総合計画 基本 策 画 体 系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	担当部課名	社会教育部生涯学習課
	目標とする10年 後の戸屋の姿	2	多様な文化・スポーツ・芸術・伝統が交流するまちで、戸屋の文化があふれている		
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある	課長名	長岡 一美
事務の区分	自治事務	実施期間			
実施区分	直営	会計区分		一般会計	
根拠法令等	社会教育法、戸屋市社会教育委員に関する条例、戸屋市社会教育委員会会議規則				

2 事務事業の概要等

事務事業の目的・意図	対象 一般市民 教育委員会の附属機関として社会教育委員を委嘱する。
大きな目的	社会教育委員は社会教育に関し教育長を経て教育委員会に助言するため職務を行う。社会教育に関する諸計画を立案することなど。
全体概要	<input type="checkbox"/> 社会教育委員の会議を設置する。 <input type="checkbox"/> 社会教育に関する諸計画を立案すること。 <input type="checkbox"/> 教育委員会の諮問に応じ、意見を述べること。 <input type="checkbox"/> 上記の職務を行うための必要な研究調査を行うこと。
委託・指定管理者制度の導入等	<input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度を導入 委託先等の名称
委託内容等	
産学協働連携をしていますか	<input type="checkbox"/> 連携あり <input checked="" type="checkbox"/> 連携なし 連携先

3 事務事業の経費

事業費	構成(%)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	平成24年度決算について
人件費	69%	2,386	1,873		住民1人当たり(円) 28.26
事業費	31%	866	841	1,317	1世帯あたり(円) 62.34
他部門経費					人口 96,036
減価償却費					世帯数 43,533
合計	100%	3,252	2,714	1,317	平成24年4月1日現在の 住民基本台帳と外国人登録の合計 特記事項・備考
国費					
県費					
市債					
その他					
一般財源	100%	3,252	2,714	1,317	
合計	100%	3,252	2,714	1,317	
活動員	76%	0.25	0.25		
嘱託・臨職等	24%		0.08		
合計	100%	0.25	0.33	0.00	

4 平成24年度の実施内容

24年度目標	年間の取り組みテーマを決め、社会教育委員の会議で計画的に議題に取り組む
(1) 平成24年度の実施内容(実績値、達成状況、事業費(決算)の内訳など)	事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。 単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください ・社会教育委員8名で構成。(社会教育委員報酬 740千円) ・社会教育委員の会議を隔月1回の計6回を開催した。 ・社会教育委員の研修を4回実施した。 ・国・県・阪神地区の社会教育委員関係の会議及び研修会に計4回出席した。
(2) 平成24年度の改善内容	単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください。 議題の内容・進行方法を見直すとともに、会議開催回数の見直しを行った。

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 事業実施に妥当性があるか (複数回答可)

事業の主目的は明確である 事業成果が上位施策に不可欠または貢献度が高い 貢献度が不明確、または高くない

理由 社会教育に関する助言により、より良い社会教育に繋がる。

(2) 市が実施すべきものか、民間で対応可能か。

市が行うもの 民間で対応可能 他団体では見直しがされている

理由 行政が社会教育を推進するため必要である。

(3) 目標に対して達成できたか。

達成した 概ね達成した 一部達成した ほとんど達成していない

理由 議題のテーマを定め、会議を開催できた。

(4) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。

改善の余地がある ある程度改善の余地がある ほとんど改善の余地はない

理由 計画的に議題を定め、会議を行うことを検討する。

6 課題への対応・方向性

(1) 現在認識している課題	社会教育委員の会議の進行方法を見直し、計画的に議題に取り組む。	部長名 中村 尚代 社会教育委員の会議が、より有効なものとなるよう儀礼的な定期開催にとらわれず、柔軟に開催する仕組みに改正することを評価します。 今後は、引き続き会議を実施する中で、会議の進行、議題や活動内容等の検討が必要と考えます。				
(2) 市民、関係者からの要望等	<table border="1"> <tr> <th>誰から</th> <th>内容</th> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	誰から	内容			
誰から	内容					
(3) 平成25年度の目標・改善内容(数値目標含む)	社会教育委員の会議の進行方法を見直し、計画的に議題に取り組む。					
(4) 平成26年度以降の改善・方向性	社会教育委員の会議の進行方法を見直し、計画的に議題に取り組む。	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合				

事務事業評価票(平成24年度決算評価)

1 事務事業の基本情報 平成 25 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	美術博物館管理運営委託事業		事務事業番号	1021190	
総合計 基本 画 策 体 系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	担当部課名	社会教育部生涯学習課
	目標とする10年 後の戸屋の姿	2	多様な文化・スポーツ・芸術・伝統が交流するまちで、戸屋の文化があふれている		
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある		
事務の区分	自治事務		実施期間	平成23年度～	
実施区分	委託		会計区分	一般会計	
根拠法令等	戸屋市立美術博物館条例, 同施行規則, 戸屋市立美術博物館運営基本方針				

2 事務事業の概要等

事務事業の 目的・意 図	対象	市民及び全国の文学・美術・歴史等の愛好者			
	意図	美術博物館の運営及び維持管理。			
大きな目的	施設を良好に維持管理するとともに、「市民に親しまれる美術博物館」として運営を行う。				
全体概要	【美術博物館の指定管理者による運営及び維持管理】 <input type="checkbox"/> 施設補修の維持管理業務 <input type="checkbox"/> 施設の運営業務 <input type="checkbox"/> 展覧会の開催 <input type="checkbox"/> 資料の保存・整理 <input type="checkbox"/> 教育普及活動業務 <input type="checkbox"/> 公募展の開催				
委託・指定管理者 制度の導入等	<input type="checkbox"/> 委託	<input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度を導入	委託先等の名称	小学館集英社プロダクション, 戸屋ミュージアム・マネジメント, グローバルコミュニティグループ	
委託内容等	美術博物館の管理運営				
産学協働連携 をしていますか	<input type="checkbox"/> 連携あり	<input type="checkbox"/> 連携なし	連携先		

3 事務事業の経費

事業費	構成(%)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	平成24年度決算について
人件費	4%	3,237	2,808		住民1人当たり(円) 756.05
事業費	96%	69,800	69,800	74,800	1世帯あたり(円) 1,667.88
他部門経費					人口 96,036
減価償却費					世帯数 43,533
合計	100%	73,037	72,608	74,800	平成24年4月1日現在の 住民基本台帳と外国人登録の合計 特記事項・備考
国費					
市債					
その他	2%	939	1,123	6,000	
一般財源	98%	72,098	71,485	68,800	
合計	100%	73,037	72,608	74,800	
活動費	89%	0.40	0.40		
職・嘱託・臨職等	11%	0.24	0.05		
合計	100%	0.64	0.45	0.00	

4 平成24年度の実施内容

24年度目標	指定管理者による円滑な運営・革新的な事業展開及び入館者数の増加
(1) 平成24年度の実施内容(実績値, 達成状況, 事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。単位(例:人, 千円など)は、必ず明示してください	指定管理料 69,800千円 入館者数 27,540人 ・常設・企画展事業 17,470人 ・展覧会関連事業 792人 ・講演, 講座等 246人 ・ワークショップ等 624人 ・その他事業 4,707人
(2) 平成24年度の改善内容	単位(例:人, 千円など)は、必ず明示してください。 指定管理者による良好な施設管理及び事業展開

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 事業実施に妥当性があるか (複数回答可)

事業の主目的は明確である 事業成果が上位施策に不可欠または貢献度が高い 貢献度が不明確、または高くない

理由 指定管理者による良好な施設管理及び革新的な事業展開

(2) 市が実施すべきものか、民間で対応可能か。

市が行うもの 民間で対応可能 他団体では見直しがされている

理由 現在、指定管理者による管理運営を実施している。

(3) 目標に対して達成できたか。

達成した 概ね達成した 一部達成した ほとんど達成していない

理由 事業計画にそった実施が行われており入館者数も対前年度比増とすることができたが、それ以上の増が見込める余地があると考えるため

(4) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。

改善の余地がある ある程度改善の余地がある ほとんど改善の余地はない

理由 指定管理者に公立の文化施設であるとの認識を持たせつつ、入館料収入の増加を図る

6 課題への対応・方向性

(1) 現在認識している課題	部長名 中村 尚代
・入館者数の横ばい傾向 ・平成26年度よりの新たな指定管理者への円滑な移行	指標の1つである来館者数が、対前年度比で増加していることについて、評価します。 25年度は指定管理者の選定替えもあることから、円滑な手続を行うと共に次年度への円滑な事業運営に向けての取り組みが必要と考えます。
(2) 市民、関係者からの要望等	誰から 内容
(3) 平成25年度の目標・改善内容(数値目標含む)	市と指定管理者との役割の明確化
(4) 平成26年度以降の改善・方向性	・引続き、指定管理者による美術博物館の管理運営
	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input checked="" type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合

事務事業評価票(平成24年度決算評価)

平成 25 年 5 月 31 日 現在

1 事務事業の基本情報

事務事業名	文化施設管理業務(美博)		事務事業番号	1021200	
総合計 基本 画 策 体 系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	担当部課名	社会教育部生涯学習課
	目標とする10年 後の戸屋の姿	2	多様な文化・スポーツ・芸術・伝統が交流するまちで、戸屋の文化があふれている		
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある	課長名	長岡 一美
事務の区分	自治事務		実施期間	平成23年度～	
実施区分	直営		会計区分	一般会計	
根拠法令等	戸屋市立美術博物館条例, 同施行規則				

2 事務事業の概要等

事務事業の 目的 対象・意 図	対象	市民及び全国のアート・歴史等愛好者・関係者。			
	意図	市民等入館者が安全快適に観覧できるよう、設備・施設の維持管理を行う。館蔵資料を適切に管理する。			
大きな目的	市民等が安全快適に観覧いただくこと。館蔵資料の適切な管理。				
全体概要	【美術博物館の管理運営】 <input type="checkbox"/> 施設改修 <input type="checkbox"/> 美術博物館管理運営 <input type="checkbox"/> 美術博物館協議会の運営				
委託・指定管理者 制度の導入等	<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度を導入	委託先等の名称		
委託内容等					
産学協働連携 をしていますか	<input type="checkbox"/> 連携あり	<input type="checkbox"/> 連携なし	連携先		

3 事務事業の経費

事業費	構成(%)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	平成24年度決算について	
人件費	54%	2,089	3,693		住民1人当たり(円)	71.09
事業費	46%	955	3,134	27,802	1世帯あたり(円)	156.82
他部門経費					人口	96,036
減価償却費					世帯数	43,533
合計	100%	3,044	6,827	27,802	平成24年4月1日現在の 住民基本台帳と外国人登録の合計	
国費					特記事項・備考	
市債						
その他	0%	39	34	37		
一般財源	100%	3,005	6,793	27,765		
合計	100%	3,044	6,827	27,802		
活動費	60%	0.40	0.55			
嘱託・臨職等	40%	0.24	0.36			
合計	100%	0.64	0.91	0.00		

4 平成24年度の実施内容

24年度目標	入館者の安全・快適な観覧場所の提供及び収蔵資料の適切な管理
(1) 平成24年度の実施内容(実績値, 達成状況, 事業費(決算)の内訳など)	事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。 単位(例:人, 千円など)は、必ず明示してください ・美術博物館協議会の開催 156千円 ・改良改修工事 2,505千円 ・その他管理運営経費 473千円
(2) 平成24年度の改善内容	単位(例:人, 千円など)は、必ず明示してください。 入館者に対する安全・快適な施設の提供, 収蔵作品の保管・整理(収蔵棚の設置等)

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 事業実施に妥当性があるか(複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠または貢献度が高い <input type="checkbox"/> 貢献度が不明確、または高くない
理由	中規模程度以上の改修工事の実施
(2) 市が実施すべきものか、民間で対応可能か。	<input checked="" type="checkbox"/> 市が行うもの <input type="checkbox"/> 民間で対応可能 <input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている
理由	市の所有施設であるため
(3) 目標に対して達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 概ね達成した <input type="checkbox"/> 一部達成した <input type="checkbox"/> ほとんど達成していない
理由	指定管理者からの報告を受け、安全・快適な施設管理に留意している。
(4) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	<input type="checkbox"/> 改善の余地がある <input type="checkbox"/> ある程度改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ほとんど改善の余地はない
理由	施設管理上、不具合な箇所等指定管理者よりの連絡に対し、その都度、対処している。

6 課題への対応・方向性

(1) 現在認識している課題	館蔵品の目録整理(特に歴史関係資料)	部長名	中村 尚代
(2) 市民、関係者からの要望等		通常の施設の維持管理については、指定管理者が行っていることから、連絡を密にし、大型改修については市の長期保全計画に即した施設管理に努めてください。	
(3) 平成25年度の目標・改善内容(数値目標含む)	防水改修工事		
(4) 平成26年度以降の改善・方向性	防火シャッター安全対策工事		
		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input checked="" type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合	

事務事業評価票(平成24年度決算評価)

1 事務事業の基本情報 平成 25 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	文化施設管理業務(谷崎)		事務事業番号	1021210	
総合計 基本 画 策 体 系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	担当部課名	社会教育部生涯学習課
	目標とする10年 後の戸屋の姿	2	多様な文化・スポーツ・芸術・伝統が交流するまちで、戸屋の文化があふれている		
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある	課長名	長岡 一美
事務の区分	自治事務		実施期間	平成18年度～	
実施区分	委託		会計区分	一般会計	
根拠法令等	戸屋市谷崎潤一郎記念館条例, 同施行規則				

2 事務事業の概要等

事務事業の目的・意図	対象	市民等全国の谷崎潤一郎作品及び文学の愛好者			
大きな目的	意図	指定管理者により入館者が安全快適に観覧できるよう設備・施設を良好に維持管理する。また、多くの市民に谷崎文学の世界を楽しんでいただくとともに、文豪谷崎潤一郎の業績を顕彰することを目的とし、資料展示等を行う。			
全体概要		谷崎潤一郎記念館の入館者が安全快適に観覧いただくとともに、谷崎潤一郎文学の業績をしのび、その作品遺品等に接することを通じて市民等の教養を深める。 <input type="checkbox"/> 谷崎潤一郎記念館の指定管理者による運営及び維持管理 ・資料の収集、整理、展示等を行う。 ・各設備等の保守点検。 ・館及び館周辺の清掃。 <input type="checkbox"/> 谷崎潤一郎記念館の施設補修			
委託・指定管理者制度の導入等		<input type="checkbox"/> 委託	<input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度を導入	委託先等の名称	読売・武庫川学院事業連合
委託内容等	谷崎潤一郎記念館の管理運営				
産学協働連携をしていますか		<input type="checkbox"/> 連携あり	<input type="checkbox"/> 連携なし	連携先	

3 事務事業の経費

事業費	構成(%)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	平成24年度決算について	
人件費	8%	1,393	1,865		住民1人当たり(円)	231.28
事業費	91%	19,948	20,288	26,377	1世帯あたり(円)	510.21
他部門経費	0%		58		人口	96,036
減価償却費					世帯数	43,533
合計	100%	21,341	22,211	26,377	平成24年4月1日現在の 住民基本台帳と外国人登録の合計	
国費					特記事項・備考	
市債						
その他	1%	133	126	137		
一般財源	99%	21,208	22,085	26,240		
合計	100%	21,341	22,211	26,377		
活動費	67%	0.40	0.30			
職・嘱託・臨職等	33%	0.24	0.15			
合計	100%	0.64	0.45	0.00		

4 平成24年度の実施内容

24年度目標	入館者数の増加
(1) 平成24年度の実施内容(実績値, 達成状況, 事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。 単位(例:人, 千円など)は、必ず明示してください	
指定管理料	18,374千円
その他	1,914千円
入館者数	13,570人
展示事業	
ロビーギャラリー	
ロビーギャラリートーク	
文学館講座	
朗読会	
特別イベント	
残月祭	241人
(2) 平成24年度の改善内容 単位(例:人, 千円など)は、必ず明示してください。	
・各種イベント、講座、ツアーなど多くの企画事業の情報提供 ・入館者等の利用要望の把握 ・谷崎の生涯を紹介する「谷崎潤一郎新聞」の発行	

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 事業実施に妥当性があるか (複数回答可)

事業の主目的は明確である 事業成果が上位施策に不可欠または貢献度が高い 貢献度が不明確、または高くない

理由 谷崎文学作品を通じ、市民等の教養を深める

(2) 市が実施すべきものか、民間で対応可能か。

市が行うもの 民間で対応可能 他団体では見直しがされている

理由 指定管理者制度を導入している

(3) 目標に対して達成できたか。

達成した 概ね達成した 一部達成した ほとんど達成していない

理由 幅広く特別展や講座・特別イベントを展開

(4) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。

改善の余地がある ある程度改善の余地がある ほとんど改善の余地はない

理由 創造的且つ斬新な企画事業の実施

6 課題への対応・方向性

(1) 現在認識している課題

建物と一体をなす庭園管理に係る経費の削減

誰から 内容

(2) 市民、関係者からの要望等

(3) 平成25年度の目標・改善内容(数値目標含む)

指定管理者と連絡調整を十分行いながら、更に入館者増につながる事業展開を行う

(4) 平成26年度以降の改善・方向性

収蔵作品のみならず、谷崎関連資料の借受け等による新たな事業展開

7 部長の2次評価

部長名 中村 尚代

施設の規模や特別事業回数等からも、入館者の数等について、評価します。25年度は指定管理者の選定替えもあることから、円滑な手続を行うと共に次年度への円滑な事業運営に向けての取り組みが必要と考えます。

拡大・充実 現状維持
 見直し 民間委託
 廃止・統合

事務事業評価票(平成24年度決算評価)

1 事務事業の基本情報 平成 25 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	谷崎潤一郎記念館施設整備事業		事務事業番号	1021220	
総合計画 基本計画 体系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	担当部課名	社会教育部生涯学習課
	目標とする10年 後の戸屋の姿	2	多様な文化・スポーツ・芸術・伝統が交流するまちで、戸屋の文化があふれている		
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある	課長名	長岡 一美
事務の区分	自治事務		実施期間	平成22年度～平成27年度	
実施区分	直営		会計区分	一般会計	
根拠法令等					

2 事務事業の概要等

事務事業の 目的 対象・意図	対象	谷崎潤一郎記念館の入館者			
	意図	谷崎潤一郎記念館の入館者が安全・快適に観覧できる。			
大きな目的	老朽化した施設や設備を更新・改修し、入館者が安全・快適に観覧できる環境づくりを目指す。				
全体概要	<ul style="list-style-type: none"> ■外装改修工事 ■空調機ファンコイル改修工事 ■塗装工事 ■クロス張替工事 ■電気設備改修工事 				
委託・指定管理者 制度の導入等	<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度を導入	委託先等の名称		
委託内容等					
産学協働連携 をしていますか	<input type="checkbox"/> 連携あり	<input type="checkbox"/> 連携なし	連携先		

3 事務事業の経費

事業費	構成(%)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	平成24年度決算について
人件費		456			住民1人当たり(円) 0.00
事業費		1,195		0	1世帯あたり(円) 0.00
他部門経費					人 口 96,036
減価償却費					世 帯 数 43,533
合計		1,651	0	0	平成24年4月1日現在の 住民基本台帳と外国人登録の合計 特記事項・備考
国費					
県費					
市債					
その他 一般財源		1,651		0	
合計		1,651	0	0	
活動 配分 (人)					
職員		0.40			
嘱託・臨職等		0.24			
合計		0.64	0.00	0.00	

4 平成24年度の実施内容

24年度目標	
(1) 平成24年度の実施内容(実績値, 達成状況, 事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。 単位(例:人, 千円など)は、必ず明示してください	
(2) 平成24年度の改善内容 単位(例:人, 千円など)は、必ず明示してください。	

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 事業実施に妥当性があるか (複数回答可)

事業の主目的は明確である 事業成果が上位施策に不可欠または貢献度が高い 貢献度が不明確、または高くない

理由

(2) 市が実施すべきものか、民間で対応可能か。

市が行うもの 民間で対応可能 他団体では見直しがされている

理由

(3) 目標に対して達成できたか。

達成した 概ね達成した 一部達成した ほとんど達成していない

理由

(4) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。

改善の余地がある ある程度改善の余地がある ほとんど改善の余地はない

理由

6 課題への対応・方向性

7 部長の2次評価

(1) 現在認識している課題	部長名
(2) 市民、関係者からの要望等	
誰から	内容
(3) 平成25年度の目標・改善内容(数値目標含む)	
(4) 平成26年度以降の改善・方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合

事務事業評価票(平成24年度決算評価)

1 事務事業の基本情報 平成 25 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	谷崎潤一郎賞受賞記念文化事業		事務事業番号	1021230	
総合計画 基本計画 画策体系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	担当部課名	社会教育部生涯学習課
	目標とする10年 後の芦屋の姿	2	多様な文化・スポーツ・芸術・伝統が交流するまちで、芦屋の文化があふれている		
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある		
事務の区分	自治事務		実施期間	平成12年度～	
実施区分	直営		会計区分	一般会計	
根拠法令等	芦屋市谷崎潤一郎記念館条例, 同施行規則				

2 事務事業の概要等

事務事業の 目的 対象・意図	対象	谷崎潤一郎作品及び文学の愛好者			
	意図	民間活力の導入を図りながら開催する事業として定着。谷崎潤一郎記念館のPRとともに本市が発信する文化事業として充実を図る。			
大きな目的	関西(芦屋)から発信する文化事業として定着させ、谷崎潤一郎記念館の活性化と谷崎文学の拠点として文化振興に寄与する。				
全体概要	□わが国文学界の権威ある賞として知られる、中央公論新社主催「谷崎潤一郎賞」の受賞者を招き、講演会を行う。				
委託・指定管理者 制度の導入等	<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度を導入	委託先等の名称		
委託内容等					
産学協働連携 をしていますか	<input type="checkbox"/> 連携あり	<input type="checkbox"/> 連携なし	連携先		

3 事務事業の経費

事業費	構成(%)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	平成24年度決算について	
人件費	75%	1,271	1,671		住民1人当たり(円)	23.09
事業費	25%	508	546	642	1世帯あたり(円)	50.93
他部門経費					人口	96,036
減価償却費					世帯数	43,533
合計	100%	1,779	2,217	642	平成24年4月1日現在の 住民基本台帳と外国人登録の合計	
国費					特記事項・備考	
県費						
市債						
その他						
一般財源	100%	1,779	2,217	642		
合計	100%	1,779	2,217	642		
活動費	63%	0.40	0.20			
職費						
嘱託・臨職等	38%	0.24	0.12			
合計	100%	0.64	0.32	0.00		

4 平成24年度の実施内容

24年度目標	谷崎潤一郎賞受賞者の講演会を開催し、市民を招待する。
(1) 平成24年度の実施内容(実績値, 達成状況, 事業費(決算)の内訳など)	<p>事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。 単位(例:人, 千円など)は、必ず明示してください</p> <p>講師謝金 334千円 講演会等経費 212千円 入館者数 276人</p>
(2) 平成24年度の改善内容	単位(例:人, 千円など)は、必ず明示してください。

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 事業実施に妥当性があるか (複数回答可)

事業の主目的は明確である 事業成果が上位施策に不可欠または貢献度が高い 貢献度が不明確、または高くない

理由 谷崎文学への関心を深め、文化意識の高揚を図る。

(2) 市が実施すべきものか、民間で対応可能か。

市が行うもの 民間で対応可能 他団体では見直しがされている

理由 業務内容としては現在指定管理者側で実施している残月祭と同様のものであるため

(3) 目標に対して達成できたか。

達成した 概ね達成した 一部達成した ほとんど達成していない

理由 良好に開催することができたため

(4) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。

改善の余地がある ある程度改善の余地がある ほとんど改善の余地はない

理由 経費的には節約に十分心がけて実施しているため

6 課題への対応・方向性

(1) 現在認識している課題	講演会参加者は谷崎潤一郎賞受賞者の人気に左右される傾向にある。	部長名 中村 尚代
(2) 市民、関係者からの要望等		文学界で権威ある賞のひとつである谷崎潤一郎賞の受賞者による記念講演会を記念館を持つ芦屋市が実施していることは意義あることと考えます。事業の継続にあたっては、指定管理者との役割分担等を明確にしておくことが望ましいと思われま。
(3) 平成25年度の目標・改善内容(数値目標含む)	引き続き良好に開催し、市民に著名な作家の講演を聴く機会を提供する。	
(4) 平成26年度以降の改善・方向性	指定管理者による文化事業の一環としての位置付けの検討	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合

事務事業評価票(平成24年度決算評価)

平成 25 年 5 月 31 日 現在

1 事務事業の基本情報

事務事業名	富田砕花顕彰事業管理委託(旧居管理)		事務事業番号	1021240	
総合計画 基本体系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	担当部課名	社会教育部生涯学習課
	目標とする10年 後の声屋の姿	2	多様な文化・スポーツ・芸術・伝統が交流するまちで、声屋の文化があふれている		
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある		
事務の区分	自治事務		実施期間	昭和62年度～	
実施区分	直営、委託		会計区分	一般会計	
根拠法令等					

2 事務事業の概要等

対象	詩人富田砕花に関心を持つ人々				
事務事業の目的・意図	旧居を訪れる方々が、建物のたたずまいや資料展示から情熱の詩人富田砕花の心を感じていただくこと。				
大きな目的	声屋の豊かな風土は、心のふるさととして多彩な文化を育み数々の名作を生み出した。兵庫文化の父「富田砕花」の偉業を顕彰し後世へ伝える必要がある。				
全体概要	<input type="checkbox"/> 詩人富田砕花の旧居の保存整備 <input type="checkbox"/> 寄贈資料の保存・整理・公開				
委託・指定管理者制度の導入等	<input checked="" type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度を導入	委託先等の名称	富田砕花顕彰会、セコム㈱など	
委託内容等	富田砕花旧居の保存整備、寄贈資料の保存・整理、公開				
産学協働連携をしていますか	<input type="checkbox"/> 連携あり	<input checked="" type="checkbox"/> 連携なし	連携先		

3 事務事業の経費

事業費	構成(%)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	平成24年度決算について
内訳(千円)					住民1人当たり(円) 47.89
人件費	79%	456	3,614		1世帯あたり(円) 105.64
事業費	21%	855	985	1,787	人口 96,036
他部門経費					世帯数 43,533
減価償却費					
合計	100%	1,311	4,599	1,787	平成24年4月1日現在の 住民基本台帳と外国人登録の合計 特記事項・備考
財源(千円)					
国費					
県費					
市債					
その他					
一般財源	100%	1,311	4,599	1,787	
合計	100%	1,311	4,599	1,787	
活動配分(人)					
職員	95%	0.05	0.80		
嘱託・臨職等	5%	0.01	0.04		
合計	100%	0.06	0.84	0.00	

4 平成24年度の実施内容

24年度目標	継続実施
(1) 平成24年度の実施内容(実績値、達成状況、事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください ・週2回(水曜日、日曜日)の公開 ・8/13～8/19、12/25～1/4及び10/17は休館 ・入館料 無料 ・来場者 404人	
(2) 平成24年度の改善内容 継続実施 単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください。	

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 事業実施に妥当性があるか (複数回答可)	
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠または貢献度が高い
<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確、または高くない	
理由	兵庫県文化の父と言われる、声屋ゆかりの詩人「富田砕花」がかつて住まいした空間を訪れ、作品や遺品を間近に見ることでその心を感じとり、教養を高めることにもなるため
(2) 市が実施すべきものか、民間で対応可能か。	
<input checked="" type="checkbox"/> 市が行うもの	<input type="checkbox"/> 民間で対応可能
<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている	
理由	声屋市ゆかりの文化人として顕彰し、次世代へと伝えていく必要があるため
(3) 目標に対して達成できたか。	
<input type="checkbox"/> 達成した	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね達成した
<input type="checkbox"/> 一部達成した	<input type="checkbox"/> ほとんど達成していない
理由	少ない予算の中で地味ではあるが、それなりの来館者もあり、リピーターもいる。
(4) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	
<input type="checkbox"/> 改善の余地がある	<input type="checkbox"/> ある程度改善の余地がある
<input checked="" type="checkbox"/> ほとんど改善の余地はない	
理由	施設の老朽化が進んでおり、補修が必要

6 課題への対応・方向性

(1) 現在認識している課題	部長名 中村 尚代
業100年近い建物の部分もあるので、建物全体に経年劣化があり、抜本的な補修が必要。	近年建物の傷みが目立つようになっており、維持保全について抜本的な措置が必要と考えられ、運営方法と合わせて市の今後の方針を決める必要性を認識しています。
(2) 市民、関係者からの要望等	
誰から	来訪者
内容	・駅等からの道に案内がなく、道が分かりにくい。 ・癒されるので無くないでほしい。
(3) 平成25年度の目標・改善内容(数値目標含む)	
耐震診断を行う他、予算の範囲内で、維持保全に努める。	
(4) 平成26年度以降の改善・方向性	
維持保全についての市としての方向性を決め、計画的に行なえるよう努める。	<input type="checkbox"/> 拡大・充実 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 見直し <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 廃止・統合

事務事業評価票(平成24年度決算評価)

平成 25 年 5 月 31 日 現在

1 事務事業の基本情報

事務事業名	文化財保護及び啓発事業		事務事業番号	1021250	
総合計 画 策 体 系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	担当部課名	社会教育部生涯学習課
	目標とする10年 後の芦屋の姿	2	多様な文化・スポーツ・芸術・伝統が交流するまちで、芦屋の文化があふれている		
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある	課長名	長岡 一美
事務区分	自治事務	実施期間			
実施区分	直営	会計区分		一般会計	
根拠法令等	文化財保護法 芦屋市文化財保護条例				

2 事務事業の概要等

事務事業の 対象・意図	対象	全市民			
	意図	市内文化財の保存及び活用が良好な状態にあり、広報、啓発活動が有効に実施されている。			
大きな目的	目的	市内文化財の歴史的・学術的な意義を明らかにしていくことで、市民の地域に対する愛着を高めるとともに後世にも伝承していく。			
	概要	<input type="checkbox"/> 啓発事業(講座、パンフ印刷) <input type="checkbox"/> 既存遺跡等維持管理 <input type="checkbox"/> 指定文化財等支援・助成 <input type="checkbox"/> 会下山遺跡整備事業 <input type="checkbox"/> 資料の再整理事業 <input type="checkbox"/> 新規の市内文化財の発見			
委託・指定管理者 制度の導入等	<input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度を導入	委託先等の名称			
委託内容等					
産学協働連携 をしていますか	<input type="checkbox"/> 連携あり <input checked="" type="checkbox"/> 連携なし <input type="checkbox"/> 連携先				

3 事務事業の経費

事業費	構成(%)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	平成24年度決算について
人件費	76%	27,843	11,416		住民1人当たり(円) 156.78
事業費	24%	16,236	3,641	5,713	1世帯あたり(円) 345.88
他部門経費					人口 96,036
減価償却費					世帯数 43,533
合計	100%	44,079	15,057	5,713	平成24年4月1日現在の 住民基本台帳と外国人登録の合計
国費					特記事項・備考
市費					
その他					
一般財源	100%	44,079	15,057	5,713	
合計	100%	44,079	15,057	5,713	
活動費	55%	1,60	1,25		
職託・臨職等	45%	4,76	1,04		
合計	100%	6,36	2,29	0.00	

4 平成24年度の実施内容

24年度目標	<input type="checkbox"/> 啓発事業(講座、リーフレット印刷、市民センター展示)の継続実施 <input type="checkbox"/> 文化財を活用できるようにするための資料再整理事業の実施 <input type="checkbox"/> 市内の文化財を新規に見出す	<input type="checkbox"/> 国史跡会下山遺跡の整備
(1) 平成24年度の実施内容(実績値、達成状況、事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください	<input type="checkbox"/> 啓発事業 講演会1回、秋の公民館講座9回、夏休み子ども教室2回、市民センター展示1回 <input type="checkbox"/> 既存遺跡等維持管理 会下山遺跡草刈3回、金津山古墳・朝日ヶ丘遺跡草刈2回、金津山古墳枯木伐採1本 <input type="checkbox"/> 会下山遺跡説明板の新設4ヶ所、取替6ヶ所 <input type="checkbox"/> 会下山遺跡柵等復旧・整備工事(柵の修理8ヶ所等) <input type="checkbox"/> リーフレット刊行(『徳川大坂城東六甲採石場』) <input type="checkbox"/> 冊子刊行(『芦屋川の歴史』) ・会下山遺跡・金津山古墳・朝日ヶ丘遺跡草刈業務委託料 1,029千円 ・金津山古墳枯木伐採業務委託料 368千円 ・会下山遺跡看板設置業務委託料 279千円 ・会下山遺跡柵等復旧・整備工事業務委託料 500千円	
(2) 平成24年度の改善内容	単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください。 <input type="checkbox"/> 国史跡である会下山遺跡について、草刈、看板取替、柵等の復旧など、整備を行った。 <input type="checkbox"/> 平成24年4月に芦屋市指定文化財に指定された芦屋川について、その文化的景観等をまとめた『芦屋川の歴史』を刊行し、その啓発普及を図った。 <input type="checkbox"/> 市民センターの展示では、文化財市民ボランティアが企画から展示までの作業をすべて行った。	

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 事業実施に妥当性があるか(複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠または貢献度が高い <input type="checkbox"/> 貢献度が不明確、または高くない
理由	市内の遺跡や文化財を新たに発見し、普及啓発することによって、市民が教養を高める機会が増えるため。
(2) 市が実施すべきものか、民間で対応可能か。	<input checked="" type="checkbox"/> 市が行うもの <input type="checkbox"/> 民間で対応可能 <input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている
理由	遺跡や文化財は公益性が高く、市が実施すべきと考えられるため。
(3) 目標に対して達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 概ね達成した <input type="checkbox"/> 一部達成した <input type="checkbox"/> ほとんど達成していない
理由	平成24年度の実施内容のとおり。
(4) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	<input type="checkbox"/> 改善の余地がある <input type="checkbox"/> ある程度改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ほとんど改善の余地はない
理由	市民センターの展示及び会下山遺跡の草刈では、市民文化財ボランティアと協業するなど、すでに最小の経費で最大の効果を得る取り組みを実践しているため。

6 課題への対応・方向性

(1) 現在認識している課題	<input type="checkbox"/> 国史跡会下山遺跡の活用や整備の方法 <input type="checkbox"/> 文化財を活用できるようにするための資料の再整理
(2) 市民、関係者からの要望等	誰から 市民から 内容 遺跡の草刈の回数を増やしてほしい

7 部長の2次評価

部長名	中村 尚代
評価	平成24年4月に芦屋市指定文化財に指定された芦屋川について、その文化的景観等をまとめた『芦屋川の歴史』を刊行できたこと、文化財ボランティアの新しい活躍の場の提供できたこと等は文化財の啓発事業として評価できると考えます。
(3) 平成25年度の目標・改善内容(数値目標含む)	<input type="checkbox"/> 普及啓発事業(講座、リーフレット印刷、市民センター展示)の継続実施 <input type="checkbox"/> 国史跡会下山遺跡の活用・整備 <input type="checkbox"/> 文化財を有効に活用できる資料再整理事業の実施 <input type="checkbox"/> 市内の文化財を新規に見出す
(4) 平成26年度以降の改善・方向性	<input type="checkbox"/> 普及啓発事業の継続 <input type="checkbox"/> 国史跡会下山遺跡の活用・整備 <input type="checkbox"/> 市内の文化財を新規に見出す
評価	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合

事務事業評価票(平成24年度決算評価)

1 事務事業の基本情報 平成 25 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	文化財発掘調査事業		事務事業番号	1021260	
総合計 基本 計画 体系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	担当部課名	社会教育部生涯学習課
	目標とする10年 後の戸屋の姿	2	多様な文化・スポーツ・芸術・伝統が交流するまちで、戸屋の文化があふれている		
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある	課長名	長岡 一美
事務の区分	自治事務		実施期間	昭和31年度～	
実施区分	直営		会計区分	一般会計	
根拠法令等	文化財保護法 戸屋市文化財保護条例				

2 事務事業の概要等

対象	全市民				
事務事業の目的 対象・意図	埋蔵文化財発掘調査を行い、調査結果を保存及び活用事業へ繋げる。				
大きな目的	開発に伴い破壊される埋蔵文化財を事前に記録する。その成果をもとに、戸屋の歴史を解明する。その結果、市民の地域に対する愛着を高めるとともに、文化財を将来に継承する。				
全体概要	<input type="checkbox"/> 発掘調査実施 <input type="checkbox"/> 出土遺物等の管理及び調査報告書の作成				
委託・指定管理者制度の導入等	<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度を導入	委託先等の名称		
委託内容等					
産学協働連携をしていますか	<input type="checkbox"/> 連携あり	<input checked="" type="checkbox"/> 連携なし	連携先		

3 事務事業の経費

事業費	構成(%)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	平成24年度決算について
人件費	86%	17,439	14,446		住民1人当たり(円) 174.16
事業費	14%	1,928	2,280	2,654	1世帯あたり(円) 384.21
他部門経費					人 口 96,036
減価償却費					世 帯 数 43,533
合計	100%	19,367	16,726	2,654	平成24年4月1日現在の 住民基本台帳と外国人登録の合計
国費	12%	2,000	2,000	648	特記事項・備考
県費	6%	1,000	1,000	324	
市債					
その他					
一般財源	82%	16,367	13,726	1,682	
合計	100%	19,367	16,726	2,654	
活動費	13%	1,25	0,55		
職 員	87%	2,00	3,74		
嘱託・臨職等					
合計	100%	3,25	4,29	0,00	

4 平成24年度の実施内容

24年度目標	<input type="checkbox"/> 発掘調査の円滑な実施 <input type="checkbox"/> 発掘調査報告書の作成 <input type="checkbox"/> 出土遺物等の管理
(1) 平成24年度の実施内容(実績値、達成状況、事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。 単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください	発掘届出件数 42件 発掘調査の実施 確認調査12件。本発掘調査2件(調査費は事業者負担) 発掘調査報告書の作成・刊行3冊(うち1冊の作成費及び印刷製本費は事業者負担) 出土遺物等の管理 ・発掘調査業務委託料 1,082千円 ・発掘調査報告書印刷製本費 794千円
(2) 平成24年度の改善内容	発掘調査報告書の報告内容や作成方法を精査し、作成にかかる作業量やページ数を縮減した。

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 事業実施に妥当性があるか (複数回答可)

事業の主目的は明確である 事業成果が上位施策に不可欠または貢献度が高い 貢献度が不明確、または高くない

理由 発掘調査によって新たな埋蔵文化財が発見されることによって、市の新たな歴史が解明され、市民が教養を高める機会が増えるため。

(2) 市が実施すべきものか、民間で対応可能か。

市が行うもの 民間で対応可能 他団体では見直しがされている

理由 埋蔵文化財の発掘調査は公益性が高く、その保護の観点から市が実施すべきと考えられるため。

(3) 目標に対して達成できたか。

達成した 概ね達成した 一部達成した ほとんど達成していない

理由 ・発掘調査を円滑に実施することができたため。
・刊行すべき調査報告書をすべて刊行したため。

(4) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。

改善の余地がある ある程度改善の余地がある ほとんど改善の余地はない

理由 ・発掘調査について、必要最小限の調査精度で実施しているため。
・発掘調査報告書について、必要最小限のページ数、内容で作成しているため。

6 課題への対応・方向性

(1) 現在認識している課題

発掘調査は、住宅建設をはじめとする開発に伴い事前に実施されるが、年度内の開発件数が確定していないため、事業量を見込むのが困難である。開発が増加し、発掘調査件数が増加した場合、調査費が予算を超え、不足する可能性がある。
 出土遺物等を有効に活用できる管理・保管方法を検討する必要がある。

(2) 市民、関係者からの要望等

誰から	内容

(3) 平成25年度の目標・改善内容(数値目標含む)

発掘調査の円滑な実施
 発掘調査報告書の作成
 出土遺物等の有効に活用できる管理・保管

(4) 平成26年度以降の改善・方向性

発掘調査の円滑な実施
 発掘調査報告書の作成
 出土遺物等の有効に活用できる管理・保管

7 部長の2次評価

部長名 | 中村 尚代

予測が難しい調査において、大きな混乱なく必要な調査が実施でき、調査結果の報告書についても、刊行できたことは評価できると考えます。

○ 拡大・充実 ● 現状維持
 ○ 見直し ○ 民間委託
 ○ 廃止・統合

事務事業評価票(平成24年度決算評価)

平成 25 年 5 月 31 日 現在

1 事務事業の基本情報

事務事業名	文化財保護審議会の運営		事務事業番号	1021270	
総合計画 基本計画 体系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	担当部課名	社会教育部生涯学習課
	目標とする10年 後の戸屋の姿	2	多様な文化・スポーツ・芸術・伝統が交流するまちで、戸屋の文化があふれている		
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある		
事務の区分	自治事務		実施期間	平成1年度～	
実施区分	直営		会計区分	一般会計	
根拠法令等	文化財保護法 戸屋市文化財保護条例				

2 事務事業の概要等

事務事業の 目的 対象・意図	対象	教育委員会(諮問者)を経て全市民			
	意図	市内文化財の本質的価値について、客観的かつ学術的な審議及び建議が行われること。			
大きな目的	市内文化財の保存及び活用等に関する事務を円滑にすること。				
	市内文化財の保存及び活用等についての調査審議及び建議を行う。 □ 審議会開催経費 □ 調査経費				
全体概要	市内文化財の保存及び活用等についての調査審議及び建議を行う。 □ 審議会開催経費 □ 調査経費				
	委託・指定管理者制度の導入等 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度を導入 委託先等の名称				
委託内容等					
産学協働連携 をしていますか <input type="checkbox"/> 連携あり <input checked="" type="checkbox"/> 連携なし 連携先					

3 事務事業の経費

事業費	構成(%)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	平成24年度決算について
人件費	91%	2,121	1,446		住民1人当たり(円) 16.56
事業費	9%	65	144	192	1世帯あたり(円) 36.52
他部門経費					人口 96,036
減価償却費					世帯数 43,533
合計	100%	2,186	1,590	192	平成24年4月1日現在の 住民基本台帳と外国人登録の合計
国費					特記事項・備考
県費					
市債					
その他					
一般財源	100%	2,186	1,590	192	
合計	100%	2,186	1,590	192	
活動費	83%	0.25	0.20		
嘱託・臨職等	17%		0.04		
合計	100%	0.25	0.24	0.00	

4 平成24年度の実施内容

24年度目標	市指定文化財指定に向けた継続的な開催	
(1) 平成24年度の実施内容(実績値, 達成状況, 事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。 単位(例:人, 千円など)は、必ず明示してください		
<input type="checkbox"/> 文化財保護審議会の開催 2回 <input type="checkbox"/> 指定文化財候補調査 2回 <input type="checkbox"/> 市内文化財調査指導 1回 ・委員報酬 128千円 ・旅費 15千円		
(2) 平成24年度の改善内容 単位(例:人, 千円など)は、必ず明示してください。 文化財保護審議会による指定文化財候補の調査を2回実施した。		

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 事業実施に妥当性があるか (複数回答可)	
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠または貢献度が高い
<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確、または高くない	
理由	新たな市指定文化財を指定することにより、市民が教養を高める機会が増えるため
(2) 市が実施すべきものか、民間で対応可能か。	
<input checked="" type="checkbox"/> 市が行うもの	<input type="checkbox"/> 民間で対応可能
<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている	
理由	文化財の保護と活用及び市指定文化財の指定は公益性が高く、市が行うものであるため
(3) 目標に対して達成できたか。	
<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 概ね達成した
<input type="checkbox"/> 一部達成した	<input type="checkbox"/> ほとんど達成していない
理由	平成24年度の実施内容のとおり
(4) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	
<input type="checkbox"/> 改善の余地がある	<input type="checkbox"/> ある程度改善の余地がある
<input checked="" type="checkbox"/> ほとんど改善の余地はない	
理由	必要に応じて、最小限の回数で開催しているため

6 課題への対応・方向性

(1) 現在認識している課題 市指定文化財の候補を選定し、計画的に指定していく必要がある。		部長名 中村 尚代 審議会においては、市指定文化財としての適・不適について慎重かつ熱心にご審議いただいたものと考えます。
(2) 市民、関係者からの要望等		
誰から	内容	
(3) 平成25年度の目標・改善内容(数値目標含む) 市指定文化財を計画的に指定するため、指定候補を選定。市指定文化財指定に向けた継続的な開催。		
(4) 平成26年度以降の改善・方向性 市指定文化財指定に向けた継続的な開催。		<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合

事務事業評価票(平成24年度決算評価)

1 事務事業の基本情報 平成 25 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	人権教育推進		事務事業番号	1031080	
総合計画 基本計画 体系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	担当部課名	社会教育部生涯学習課
	目標とする10年 後の芦屋の姿	3	お互いを尊重しながら理解と思いやりの心が広がっている		
	施策目標	3-1	平和と人権を尊重する意識が行き渡っている	課長名	長岡 一美
事務の区分	自治事務		実施期間		
実施区分	直営		会計区分	一般会計	
根拠法令等					

2 事務事業の概要等

事務事業の 目的 対象・意図	対象	市民全般			
	意図	社会の変化に対応する様々な人権に関する学習活動の推進を図る。			
大きな目的	人権に関する学習活動の推進を図る。				
全体概要	<input type="checkbox"/> 学習機会の充実 <input type="checkbox"/> 社会教育関係機関・団体との連携 <input type="checkbox"/> 芦屋市人権教育推進協議会を支援する				
委託・指定管理者 制度の導入等	<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度を導入	委託先等の名称		
委託内容等					
産学協働連携 をしていますか	<input type="checkbox"/> 連携あり	<input checked="" type="checkbox"/> 連携なし	連携先		

3 事務事業の経費

事業費	構成(%)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	平成24年度決算について
人件費	98%	5,161	4,491		住民1人当たり(円) 47.96
事業費	2%	224	115	394	1世帯あたり(円) 105.80
他部門経費					人口 96,036
減価償却費					世帯数 43,533
合計	100%	5,385	4,606	394	平成24年4月1日現在の 住民基本台帳と外国人登録の合計
国費					特記事項・備考
県費					
市債					
その他					
一般財源	100%	5,385	4,606	394	
合計	100%	5,385	4,606	394	
活動費	20%	0.15	0.20		
職・嘱託・臨職等	80%	1.00	0.80		
合計	100%	1.15	1.00	0.00	

4 平成24年度の実施内容

24年度目標	啓発活動について、市民生活部人権担当と連携する。	
(1) 平成24年度の実施内容(実績値, 達成状況, 事業費(決算)の内訳など)	事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。単位(例:人, 千円など)は、必ず明示してください ・学校・幼稚園・保育所への啓発冊子配布 ・成人式での啓発グッズの配布 ・人権教育啓発用教材(DVD)の購入	
(2) 平成24年度の改善内容	人権教育関係団体との関わり方を見直した。 単位(例:人, 千円など)は、必ず明示してください。	

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 事業実施に妥当性があるか (複数回答可)

事業の主目的は明確である 事業成果が上位施策に不可欠または貢献度が高い 貢献度が不明確、または高くない

理由 社会教育における人権教育の推進は必要であるため。

(2) 市が実施すべきものか、民間で対応可能か。

市が行うもの 民間で対応可能 他団体では見直しがされている

理由 行政として人権教育を推進するべきであるため。

(3) 目標に対して達成できたか。

達成した 概ね達成した 一部達成した ほとんど達成していない

理由 市民生活部人権担当との連携や、社会教育としての積極的な事業が行えていないため。

(4) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。

改善の余地がある ある程度改善の余地がある ほとんど改善の余地はない

理由 人権教育啓発用教材の有効活用。

6 課題への対応・方向性

(1) 現在認識している課題	啓発活動について、市民生活部人権推進課との連携が必要 社会教育としての人権啓発を行う		7 部長の2次評価 部長名 中村 尚代 25年度の阪同教芦屋大会や次にある兵庫県芦屋大会を視野に入れた、関係団体及び関係部署との連携した更なる取り組みが必要と考えられ、今後も人権学習の推進という目的に即し、各種事業を実施してください。
(2) 市民、関係者からの要望等	誰から <input type="text"/> 内容 <input type="text"/>		
(3) 平成25年度の目標・改善内容(数値目標含む)	啓発活動について、市民生活部人権推進課と連携するとともに、社会教育としての啓発も検討する。		
(4) 平成26年度以降の改善・方向性	啓発活動について、市民生活部人権推進課と連携するとともに、社会教育としての啓発も検討する。		

拡大・充実 現状維持
 見直し 民間委託
 廃止・統合

事務事業評価票(平成24年度決算評価)

1 事務事業の基本情報 平成 25 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	人権教育推進協議会補助金		事務事業番号	1031090	
総合計画 基本計画 画 策 目 標	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	担当部課名	社会教育部生涯学習課
	目標とする10年 後の声屋の姿	3	お互いを尊重しながら理解と思いやりの心が広がっている		
	施策目標	3-1	平和と人権を尊重する意識が行き渡っている	課長名	長岡 一美
事務の区分	その他		実施期間		
実施区分	補助		会計区分	一般会計	
根拠法令等					

2 事務事業の概要等

事務事業の 目的 対象・意 図	対象	人権教育推進協議会			
	意図	社会の変化に対応する様々な人権に関する学習活動の推進を図る。			
大きな目的	人権に関する学習活動の推進を図る。				
全体概要	□芦屋市人権教育推進協議会を支援するため補助金を支出する。				
委託・指定管理者 制度の導入等	<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度を導入	委託先等の名称		
委託内容等					
産学協働連携 をしていますか	<input type="checkbox"/> 連携あり	<input checked="" type="checkbox"/> 連携なし	連携先		

3 事務事業の経費

事業費	構成(%)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	平成24年度決算について
人件費	47%	773	988		住民1人当たり(円) 21.94
事業費	53%	1,119	1,119		1世帯あたり(円) 48.40
他部門経費					人 口 96,036
減価償却費					世 帯 数 43,533
合計	100%	1,892	2,107	0	平成24年4月1日現在の 住民基本台帳と外国人登録の合計
国費					特記事項・備考
県費					
市債					
その他					
一般財源	100%	1,892	2,107	0	
合計	100%	1,892	2,107	0	
活動費	100%	0.10	0.15		
職 員					
嘱託・臨職等					
合計	100%	0.10	0.15	0.00	

4 平成24年度の実施内容

24年度目標	・事業について市民生活部人権推進課との連携を進める。 ・人権教育推進協議会の運営の適正化を図る。
(1) 平成24年度の実施内容(実績値, 達成状況, 事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。 単位(例:人, 千円など)は、必ず明示してください	・補助金の交付 1119千円 ・定期大会 1回 ・人権教育研究大会 2回 ・常任理事会・専門部会・各種委員会
(2) 平成24年度の改善内容	単位(例:人, 千円など)は、必ず明示してください。 人権教育推進協議会の運営の適正化に努めた。研究大会全体会を市民生活部人権推進課と共同で行った。

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 事業実施に妥当性があるか (複数回答可)

事業の主目的は明確である 事業成果が上位施策に不可欠または貢献度が高い 貢献度が不明確、または高くない

理由 人権教育推進協議会の活動の幅が広がっていない。

(2) 市が実施すべきものか、民間で対応可能か。

市が行うもの 民間で対応可能 他団体では見直しがされている

理由 人権に係る活動団体の支援は行政として不可欠である。

(3) 目標に対して達成できたか。

達成した 概ね達成した 一部達成した ほとんど達成していない

理由 人権教育推進協議会の運営の適正化について、改善の余地がある。

(4) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。

改善の余地がある ある程度改善の余地がある ほとんど改善の余地はない

理由 補助金の有効活用について改善の余地がある。

6 課題への対応・方向性

(1) 現在認識している課題	部長名 中村 尚代 人権教育推進協議会の運営の適正化を図る。
(2) 市民、関係者からの要望等	誰から 内容
(3) 平成25年度の目標・改善内容(数値目標含む)	人権教育推進協議会に対する補助金は、社会教育関係団体補助として整理する。
(4) 平成26年度以降の改善・方向性	人権教育推進協議会に対する補助金は、社会教育関係団体補助として整理する。

○ 拡大・充実 ○ 現状維持
○ 見直し ○ 民間委託
● 廃止・統合

事務事業評価票(平成24年度決算評価)

1 事務事業の基本情報 平成 25 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	放課後子どもプラン		事務事業番号	1043020
総合計 基本 画 画 系 体	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	担当部課名 社会教育部生涯学習課 課長名 長岡 一美
	目標とする10年 後の戸屋の姿	4	子どもたちが社会へ羽ばたけるようたくましく育っている	
	施策目標	4-3	学校園・家庭・地域が連携して、子どもたちの育成を支えている	
事務区分	自治事務	実施期間		
実施区分	直営	会計区分 一般会計		
根拠法令等	ひょうご放課後プラン事業(子ども教室型)実施要綱, 芦屋市放課後プラン事業(子ども教室型放課後対策)			

2 事務事業の概要等

対象	小学生
事務事業の目的 対象・意図	市内の各小学校区において、放課後や週末等に小学校施設等を活用して、子どもたちの安全・安心な活動拠点として「子ども教室」を設け、地域の方々の参画を得て、勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かに健やかに育まれる環境づくりを推進することを目的とする。
大きな目的	芦屋市立小学校の校庭を開放することにより、児童に安全・安心な居場所を提供し、地域での次世代育成を進める。
全体概要	<input type="checkbox"/> 校庭開放事業 ・各校に校庭管理人を配置。 ・平日:午後4時～6時まで(10月中旬から11月は午後5時まで)。 ・ただし、春休み、夏休み、冬期(12月～2月)、休日、祝日、学校行事開催日、代休日、始業日、終業日、その他社会教育事業を行う日を除く。 ・土曜日:午前9時～12時まで(第1・3・5土曜日は各学校毎に開放しない場合あり) ・ただし、春休み、夏休み、冬休み、休日、祝日、学校行事開催日、その他社会教育事業を行う日を除く。 <input type="checkbox"/> 多世代交流事業 ・地域住民の協力を得て、放課後に多世代交流や地域文化伝承の場を持つ。
委託・指定管理者制度の導入等	<input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度を導入 委託先等の名称
委託内容等	
産学協働連携をしていますか	<input type="checkbox"/> 連携あり <input checked="" type="checkbox"/> 連携なし 連携先

3 事務事業の経費

事業費	構成(%)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	平成24年度決算について
人件費	71%	5,549	6,094		住民1人当たり(円) 89.44
事業費	29%	1,981	2,495	3,599	1世帯あたり(円) 197.30
他部門経費					人口 96,036
減価償却費					世帯数 43,533
合計	100%	7,530	8,589	3,599	平成24年4月1日現在の 住民基本台帳と外国人登録の合計
国費					特記事項・備考
県費	18%	1,263	1,550	2,338	
市債					
その他					
一般財源	82%	6,267	7,039	1,261	
合計	100%	7,530	8,589	3,599	
活動費	58%	0.60	0.60		
職費・臨職等	42%	0.24	0.44		
合計	100%	0.84	1.04	0.00	

4 平成24年度の実施内容

24年度目標	・校庭開放事業の実施方法の整理。 ・教室での交流事業の実施校を増やす。
(1) 平成24年度の実施内容(実績値, 達成状況, 事業費(決算)の内訳など)	事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。 単位(例:人, 千円など)は、必ず明示してください ・各学校に安全管理人を配置し、平日の午後4時から午後6時まで及び土曜日の午前9時から正午まで校庭開放事業を実施。(ただし、春休み・夏休み・冬期(12月・1月・2月)休日・祝日・代休日・学校行事開催日・始業日・終業日・その他社会教育事業を行う日を除く。) ・教室型事業を5箇所で開催した。 <年間実施日数> 芦屋市立精道小学校 141日(内平日108日・土曜日33日) 芦屋市立宮川小学校 138日(内平日121日・土曜日17日) 芦屋市立山手小学校 152日(内平日118日・土曜日34日) 芦屋市立岩園小学校 44日(内平日27日・土曜日17日) 芦屋市立朝日ヶ丘小学校 93日(内平日74日・土曜日19日) 芦屋市立潮見小学校 106日(内平日76日・土曜日30日) 芦屋市立打出浜小学校 144日(平日122日・土曜日22日) 芦屋市立浜風小学校 155日(内平日123日・土曜日32日)
(2) 平成24年度の改善内容	単位(例:人, 千円など)は、必ず明示してください。 岩園小学校及び朝日ヶ丘小学校で、一旦下校することなく参加できるよう実施方法を整理した。

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 事業実施に妥当性があるか (複数回答可)

事業の主目的は明確である 事業成果が上位施策に不可欠または貢献度が高い 貢献度が不明確、または高くない

理由 放課後小学校を開放することにより、児童は安全・安心な場所で遊ぶことができ、健全な育成につながるため。

(2) 市が実施すべきものか、民間で対応可能か。

市が行うもの 民間で対応可能 他団体では見直しがされている

理由 行政として、児童に安心・安全な居場所を提供するべきであるため。

(3) 目標に対して達成できたか。

達成した 概ね達成した 一部達成した ほとんど達成していない

理由 一旦下校することなく参加できる方法を整理した。

(4) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。

改善の余地がある ある程度改善の余地がある ほとんど改善の余地はない

理由 一旦下校することなく参加できる方法での実施校や教室型の実施校の検討を行う。

6 課題への対応・方向性

(1) 現在認識している課題

参加児童数の少ない学校の参加者の増加

部長名 中村 尚代

放課後子どもプランについて、より良い事業実施のあり方のための見直しを評価します。引き続き事業を実施する中で、検証と必要に応じての更なる見直しが必要と考えます。

(2) 市民、関係者からの要望等

誰から	内容

(3) 平成25年度の目標・改善内容(数値目標含む)

参加児童数の少ない学校の参加者の増加や教室での交流事業を含め、より良い実施を検討する。

(4) 平成26年度以降の改善・方向性

参加児童数の少ない学校の参加者の増加や教室での交流事業を含め、より良い実施を検討する。

拡大・充実 現状維持
 見直し 民間委託
 廃止・統合

事務事業評価票(平成24年度決算評価)

1 事務事業の基本情報 平成 25 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	生涯スポーツ推進事業		事務事業番号	1021280	
総合計画 基本体系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	担当部課名	社会教育部スポーツ推進課
	目標とする10年 後の声屋の姿	2	多様な文化・スポーツ・芸術・伝統が交流するまちで、声屋の文化があふれている		
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある	課長名	木高 守
事務の区分	自治事務	実施期間			
実施区分	直営	会計区分		一般会計	
根拠法令等	スポーツ基本法				

2 事務事業の概要等

事務事業の 対象・意図	対象	市民(成人)の定期的スポーツ実施率66%を目指す。				
	意図	地域スポーツの活性化とスポーツ・フォー・エブリワン(生涯スポーツ)の定着を図る。				
大きな目的	生涯スポーツの普及と推進を図る。					
全体概要	<input type="checkbox"/> スポーツリーダー、スポーツ推進委員の派遣・養成 <input type="checkbox"/> 健康スポーツ、ファミリースポーツ、競技スポーツ、障がい者スポーツの啓発・推進 <input type="checkbox"/> スポーツ・フォー・エブリワンの推進 <input type="checkbox"/> スポーツ団体活動補助とスポーツクラブ21ひょうご事業の推進 <input type="checkbox"/> スポーツ推進審議会の開催 <input type="checkbox"/> スポーツ・ボランティアの活用					
委託・指定管理者 制度の導入等	<input checked="" type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度を導入	委託先等の名称	特定非営利活動法人 声屋市体育協会		
委託内容等	○市民ゴルフ大会					
産学協働連携 をしていますか	<input type="checkbox"/> 連携あり	<input type="checkbox"/> 連携なし	連携先			

3 事務事業の経費

事業費	構成(%)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	平成24年度決算について
内訳(千円)					
人件費	63%	17,445	15,749		住民1人当たり(円) 258.78
事業費	37%	5,909	9,103	7,337	1世帯あたり(円) 570.88
他部門経費					人口 96,036
減価償却費					世帯数 43,533
合計	100%	23,354	24,852	7,337	平成24年4月1日現在の 住民基本台帳と外国人登録の合計
財源(千円)					特記事項・備考
国費					
県費					
市債					
その他	0%	21	36	50	
一般財源	100%	23,333	24,816	7,287	
合計	100%	23,354	24,852	7,337	
活動配分(人)					
職員	100%	1.80	1.80		
嘱託・臨職等					
合計	100%	1.80	1.80	0.00	

4 平成24年度の実施内容

24年度目標	スポーツ団体も含め、各事業の指導体制を確立していく。
(1) 平成24年度の実施内容(実績値、達成状況、事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください	<input type="checkbox"/> スポーツ推進委員[2,075千円] <input type="checkbox"/> スポーツ推進審議会[1,680千円] <input type="checkbox"/> 阪神地区都市対抗駅伝規定大会[45千円] <input type="checkbox"/> 体力づくり強調月間行事(※体育の日の行事)[755千円] <input type="checkbox"/> スポーツリーダー養成等[308千円] <input type="checkbox"/> 子どもの体力向上事業(カヌー体験教室、ファミリースポーツのつどい等)[237千円] <input type="checkbox"/> スポーツ関係団体補助金(体育協会、レクスボ協会)[1,600千円] <input type="checkbox"/> 障がい者スポーツ[56千円] <input type="checkbox"/> あしやスポーツフォーラム[104千円] <input type="checkbox"/> スポーツクラブ21ひょうご(市、阪神南、県連絡協議会、推進委員会)[38千円] <input type="checkbox"/> 声屋国際ファンラン[107千円] <input type="checkbox"/> スポーツフォーエブリワン推進事業[449千円]
(2) 平成24年度の改善内容 単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください。	<input type="checkbox"/> 課題となる事業の指導体制については内部的指導者である「スポーツ推進委員」「スポーツリーダー」が自ら研修を受け対応していった。 <input type="checkbox"/> スポーツ団体がtoto助成交付を受け、スポーツ事業を始めた。

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 事業実施に妥当性があるか (複数回答可)

事業の主目的は明確である 事業成果が上位施策に不可欠または貢献度が高い 貢献度が不明確、または高くない

理由

(2) 市が実施すべきものか、民間で対応可能か。

市が行うもの 民間で対応可能 他団体では見直しがされている

理由

(3) 目標に対して達成できたか。

達成した 概ね達成した 一部達成した ほとんど達成していない

理由

(4) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。

改善の余地がある ある程度改善の余地がある ほとんど改善の余地はない

理由

健康づくり施策であれば健康課と、子どもの体力向上事業であれば学校教育課と、障がい者スポーツであれば、社会福祉協議会(福祉センターや障害福祉課)と横断的に事業の連携・協働をすすめることで、効果的な事業が推進する。スポーツ団体にもスポーツ推進の責務(努力)を促す。

6 課題への対応・方向性

(1) 現在認識している課題	部長名 中村 尚代
スポーツ推進の計画見直しのため、現況を把握し、今後、具体的な行動計画を策定する。	スポーツ基本法が制定され、社会的にもスポーツへの取組みの重要性が高まっています。計画策定においては声屋市スポーツ推進審議会からの答申を尊重し、かつ行政計画として実効性を伴う内容とすることが必要と考えます。
(2) 市民、関係者からの要望等	誰から 内容
(3) 平成25年度の目標・改善内容(数値目標含む)	スポーツ推進に係る庁内関係課の諸施策現況を把握し、生涯スポーツ推進事業の充実を目指す。 また、スポーツ活動に関する市民意識調査に基づく具体的課題を整理 ①現状のスポーツ定期的実施率を1%ずつ上げることを目指す。 ②未実施率(運動をしない人)を0.5%ずつ下げることを目指す。 ③クラブ加入率を1%ずつ上げることを目指す。④兵庫一、日本一となるアスリートを増やす。
(4) 平成26年度以降の改善・方向性	スポーツ推進計画の推進 <input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合

事務事業評価票(平成24年度決算評価)

平成 25 年 5 月 31 日 現在

1 事務事業の基本情報

事務事業名	社会体育施設の管理運営事業		事務事業番号	1021290
総合計 基本 画 策 体 系	まちづくりの 基本 方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	担当部課名 社会教育部スポーツ推 進課 課長名 木高 守
	目標とする10年 後の芦屋の姿	2	多様な文化・スポーツ・芸術・伝統が交流するまち で、芦屋の文化があふれている	
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある	
事務区分	自治事務	実施期間	平成18年度～	
実施区分		会計区分	一般会計	
根拠法令 要綱	各施設の設置管理に関する条例、規則、要綱			

2 事務事業の概要等

事務事業の 目的 対象・意図	対象	市民サービスの向上と経費の削減		
	意図	指定管理者による施設の維持管理と運営を行う。		
大きな目的	市民スポーツの振興と活性化の促進			
全体概要	<input type="checkbox"/> 体育館・青少年センター運営管理 <input type="checkbox"/> 中央公園野球場、芝生広場、川西運動場管理運営 <input type="checkbox"/> 東浜、西浜、芦屋公園テニスコート管理運営 <input type="checkbox"/> 市民プール管理運営 <input type="checkbox"/> 海浜公園プール管理運営 <input type="checkbox"/> 芦屋公園テニスコート管理運営 <input type="checkbox"/> 潮芦屋運動場管理運営			
委託・指定管理者 制度の導入等	<input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度を導入	委託先等の名称	<input type="checkbox"/> スポーツクラブNAS株式会社 <input type="checkbox"/> 特定非営利活動法人 芦屋市体育協会 <input type="checkbox"/> 特定非営利活動法人 芦屋水練学校 <input type="checkbox"/> 芦屋国際ローンテニスクラブ・芦屋市体育協会 事業連合	
委託内容等	指定管理施設の施設管理運営全般			
産学協働連携 をしていますか	<input type="checkbox"/> 連携あり <input checked="" type="checkbox"/> 連携なし	連携先		

3 事務事業の経費

事業費	構成(%)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	平成24年度決算について	
内訳 (千円)	人件費	9%	15,419	13,804	1,687.84	住民1人当たり(円)
	事業費	50%	75,351	81,316	37,580	1世帯あたり(円)
	他部門経費	0%		415		人 口
	減価償却費	41%	72,061	66,558		世 帯 数
	合 計	100%	162,831	162,093	37,580	
財 源 (千円)	国 費				平成24年4月1日現在の 住民基本台帳と外国人登録の合計 特記事項・備考	
	道 費					
	市 債					
	その他	14%	19,440	23,149		19,457
	一般財源	86%	143,391	138,944	18,123	
合 計	100%	162,831	162,093	37,580		
活 動 配 分 (人)	職 員	100%	2.20	1.45		
	嘱託・臨職等					
合 計	100%	2.20	1.45	0.00		

4 平成24年度の実施内容

24年度目標	施設維持管理の整備工事実施
(1) 平成24年度の実施内容(実績値、達成状況、事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。 単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください	<施設改修工事等> <input type="checkbox"/> 体育館・青少年センター <input type="checkbox"/> 給湯器(シャワー取替工事)[1,281千円]・3階屋上漏水補修工事[184千円]・地下駐車場道路反射鏡設置工事[240千円] <input type="checkbox"/> 地下駐車場消防設備等修繕改修工事[1,470千円]・上水系統給水ポンプ取替工事[1,258千円]・井水系統量水器取替工事[103千円] <input type="checkbox"/> ガス吸収式冷暖房機ガス自動遮断弁取替工事[447千円] <input type="checkbox"/> 朝日ヶ丘公園水泳プール <input type="checkbox"/> る過装置エレメントオーバーホール[532千円]・プール土間下状況調査及び段差改修[835千円]・コースロープフック等改修工事[2,234千円] <input type="checkbox"/> 海浜公園水泳プール <input type="checkbox"/> 屋外プール中水ポンプ取替る過配管漏水修理工事[680千円]・プール加圧給水ユニット改修工事[1,995千円] <input type="checkbox"/> プール加圧給水ユニット修繕工事[796千円]・屋内温水プール改修工事[5,219千円] <input type="checkbox"/> 芦屋公園庭球場
(2) 平成24年度の改善内容 利用者の安心・安全を最優先にした施設維持管理に係る工事実施	単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください。

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 事業実施に妥当性があるか (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠または貢献度が高い <input type="checkbox"/> 貢献度が不明確、または高くない
理由	
(2) 市が実施すべきものか、民間で対応可能か。	<input checked="" type="checkbox"/> 市が行うもの <input type="checkbox"/> 民間で対応可能 <input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている
理由	
(3) 目標に対して達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 概ね達成した <input checked="" type="checkbox"/> 一部達成した <input type="checkbox"/> ほとんど達成していない
理由	抜本的な改修工事の必要となっている施設が多いが、現状維持整備している。
(4) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	<input type="checkbox"/> 改善の余地がある <input type="checkbox"/> ある程度改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ほとんど改善の余地はない
理由	

6 課題への対応・方向性

(1) 現在認識している課題	社会体育施設(体育館・青少年センターを除く)は、都市公園内の有料公園施設(スポーツ施設)として設置している施設であることから各施設の修繕、改修、整備等は、(仮称)都市公園全体整備計画の中で調整することが望ましい。また、朝日ヶ丘公園水泳プールは開設から47年経過しており、施設の老朽化が著しいが、朝日ヶ丘小学校・朝日ヶ丘幼稚園にプールがないため、学校プールとして利用しており、学校プール建設までの存続が必要であると考えている。なお、学校プール建設までは、利用者の安心・安全を最優先に施設整備を実施する。				
(2) 市民、関係者からの要望等	<table border="1"> <tr> <th>誰から</th> <th>内 容</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>	誰から	内 容		
誰から	内 容				
(3) 平成25年度の目標・改善内容(数値目標含む)	施設維持にかかる整備、修繕工事の実施。				
(4) 平成26年度以降の改善・方向性	公共施設建築物保全計画に従い、建物の安全の確保に努める。				

7 部長の2次評価

部長名	中村 尚代
評価	それぞれの施設に経年劣化が認められる中、限られた予算の中で、維持管理を適正に実施することは多大な労力と工夫が必要と認識し、その中で効率的な運営ができたと評価します。 今後は、いづれも数年後に長期保全計画における改修工事が予定されているため、突発的なものを除き、それらと時期を併せた計画的な維持管理に努めてください。
評価項目	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合

事務事業評価票(平成24年度決算評価)

平成 25 年 5 月 31 日 現在

1 事務事業の基本情報

事務事業名	潮芦屋運動場の管理運営事業		事務事業番号	1021310
総合計画 基本計画 体系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	担当部課名 社会教育部スポーツ推進課
	目標とする10年 後の芦屋の姿	2	多様な文化・スポーツ・芸術・伝統が交流するまちで、芦屋の文化があふれている	
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある	課長名 木高 守
事務の区分	自治事務及び法定受託事務		実施期間	平成19年度～平成28年度
実施区分	直営		会計区分	一般会計
根拠法令等	スポーツ振興法			

2 事務事業の概要等

事務事業の 目的 対象・意図	対象	多目的運動場として各種目のスポーツ愛好者		
	意図	スポーツ活動の場として、いつでも便利に利用できる。		
大きな目的	市民スポーツの振興と活性化の促進			
全体概要	<input type="checkbox"/> 総合賠償責任、レジャーサービス施設費用保険 <input type="checkbox"/> 総合賠償責任、レジャーサービス施設費用保険			
委託・指定管理者 制度の導入等	<input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度を導入	委託先等の名称	潮芦屋運動場利用者協議会	
委託内容等	施設管理運営			
産学協働連携 をしていますか	<input type="checkbox"/> 連携あり <input checked="" type="checkbox"/> 連携なし	連携先		

3 事務事業の経費

事業費	構成(%)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	平成24年度決算について
内訳 (千円)	人件費	95%	1,158	1,093	住民1人当たり(円) 11.94
	事業費	5%	57	54	1世帯あたり(円) 26.35
	他部門経費 減価償却費				人口 96,036 世帯数 43,533
合計	100%	1,215	1,147	60	平成24年4月1日現在の 住民基本台帳と外国人登録の合計 特記事項・備考
財源 (千円)	国費 県費 市債 その他				
	一般財源	100%	1,215	1,147	60
合計	100%	1,215	1,147	60	
活動 配分 (人)	職員	100%	0.10	0.10	
	嘱託・臨職等				
合計	100%	0.10	0.10	0.00	

4 平成24年度の実施内容

24年度目標	<input type="checkbox"/> 利用者の事故等による総合賠償保険契約の継続契約 <input type="checkbox"/> 県企業庁用地の暫定利用であり、公費投入を抑え施設整備を推進する
(1) 平成24年度の実施内容(実績値、達成状況、事業費(決算)の内訳など)	事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。 単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください <年間利用状況> <input type="checkbox"/> 開場期間: H24.4.1～H25.3.31 <input type="checkbox"/> 使用種目: 軟式野球 サッカー ソフトテニス ベタンク その他 <input type="checkbox"/> 使用時間: 146時間 1,280時間 292時間 8時間 18時間
(2) 平成24年度の改善内容	単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください。 潮芦屋運動場利用者協議会で施設整備点検を実施

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 事業実施に妥当性があるか(複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠または貢献度が高い <input type="checkbox"/> 貢献度が不明確、または高くない
理由	
(2) 市が実施すべきものか、民間で対応可能か。	<input checked="" type="checkbox"/> 市が行うもの <input type="checkbox"/> 民間で対応可能 <input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている
理由	
(3) 目標に対して達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 概ね達成した <input type="checkbox"/> 一部達成した <input type="checkbox"/> ほとんど達成していない
理由	
(4) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	<input type="checkbox"/> 改善の余地がある <input type="checkbox"/> ある程度改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ほとんど改善の余地はない
理由	

6 課題への対応・方向性

(1) 現在認識している課題	県企業庁から下水処理場用地の暫定利用として土地使用貸借契約により、市民スポーツ活動の場として利用しており、今後の県企業庁計画については未定であるが、土地使用貸借契約は3年毎の契約となっている。当初利用開始から継続利用申請し、現在は平成26年3月31日までの利用となっている。なお、県企業庁所有地のため、恒久的な利用が見込めない。
(2) 市民、関係者からの要望等	
誰から	内容
(3) 平成25年度の目標・改善内容(数値目標含む)	市民スポーツ活動施設としての有効利用
(4) 平成26年度以降の改善・方向性	市民スポーツ活動場所としての継続利用を申請

7 部長の2次評価

部長名	中村 尚代
当面は、現状を維持した施設管理に努めることが肝要です。	
<input type="checkbox"/> 拡大・充実 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 民間委託 <input type="checkbox"/> 廃止・統合	

事務事業評価票(平成24年度決算評価)

1 事務事業の基本情報 平成 25 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	スポーツ振興基金事業		事務事業番号	1021320	
総合計画 基本体系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	担当部課名	社会教育部スポーツ推進課
	目標とする10年 後の声屋の姿	2	多様な文化・スポーツ・芸術・伝統が交流するまちで、声屋の文化があふれている		
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある		
課長名	木高 守				
事務の区分	自治事務		実施期間	平成1年度～	
実施区分	直営		会計区分	一般会計	
根拠法令等	スポーツ基本法、声屋市スポーツ振興基金条例、声屋市スポーツ活動助成金交付要綱				

2 事務事業の概要等

対象	スポーツの多様化に対応できるスポーツ愛好者や選手を育成するため、老若男女問わず、障がいのある人にも積極的に参加意欲の醸成を図れるよう務める。				
事務事業の目的・意図	競技会の開催や広域等競技会への派遣、優秀な選手等の表彰を行うことで競技意欲の醸成を図り、あわせてその指導者の養成も図る。				
大きな目的	市民スポーツの普及・推進				
全体概要	<input type="checkbox"/> 表彰事業 <input type="checkbox"/> スポーツ交流事業 <input type="checkbox"/> 選手派遣事業 <input type="checkbox"/> 市長杯・教育長杯の実施 <input type="checkbox"/> 大会出場支援 <input type="checkbox"/> 指導者養成事業				
委託・指定管理者制度の導入等	<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度を導入	委託先等の名称		
委託内容等					
産学協働連携をしていますか	<input type="checkbox"/> 連携あり	<input checked="" type="checkbox"/> 連携なし	連携先		

3 事務事業の経費

事業費	構成(%)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	平成24年度決算について
内訳(千円)					住民1人当たり(円) 78.89
人件費	85%	7,062	6,411		1世帯あたり(円) 174.03
事業費	15%	1,440	1,165	1,895	人口 96,036
他部門経費					世帯数 43,533
減価償却費					
合計	100%	8,502	7,576	1,895	平成24年4月1日現在の 住民基本台帳と外国人登録の合計
財源(千円)					特記事項・備考
国費					
県費					
市債					
その他	17%	1,164	1,291	80	
一般財源	83%	7,338	6,285	1,815	
合計	100%	8,502	7,576	1,895	
活動配分(人)					
職員	100%	1.00	1.10		
嘱託・臨職等					
合計	100%	1.00	1.10	0.00	

4 平成24年度の実施内容

24年度目標	指導者派遣事業を進める
(1) 平成24年度の実施内容(実績値、達成状況、事業費(決算)の内訳など)	事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。 単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください <input type="checkbox"/> スポーツ賞表彰[143千円] <input type="checkbox"/> 各種広域大会選手等派遣事業[710千円] <input type="checkbox"/> 市長杯・教育長杯の実施[312千円]
(2) 平成24年度の改善内容	単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください。 指導者派遣事業を進めた。

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 事業実施に妥当性があるか (複数回答可)

事業の主目的は明確である 事業成果が上位施策に不可欠または貢献度が高い 貢献度が不明確、または高くない

理由

(2) 市が実施すべきものか、民間で対応可能か。

市が行うもの 民間で対応可能 他団体では見直しがされている

理由

(3) 目標に対して達成できたか。

達成した 概ね達成した 一部達成した ほとんど達成していない

理由

障がい者スポーツ指導者養成と事業を実施。

(4) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。

改善の余地がある ある程度改善の余地がある ほとんど改善の余地はない

理由

各事業を支援していくには充実予算が望まれる。

6 課題への対応・方向性

(1) 現在認識している課題

課題となっている
 ①クラブマネジャー(スポーツクラブ21の推進)
 ②ジュニアスポーツ指導員(子どもの体力向上)
 ③障がい者スポーツ指導員(障がい者スポーツの推進)の派遣事業を進める。

7 部長の2次評価

部長名|中村 尚代

スポーツ振興において、顕彰事業や指導者の派遣は大きな励みになり、大変有効であると考えます。
 今後もより継続性のある事業として求められるものと認識します。

(2) 市民、関係者からの要望等

誰から	内容

(3) 平成25年度の目標・改善内容(数値目標含む)

課題となっている指導者派遣事業を進めるとともに、指導者派遣事業に係る有資格者養成に力をいれる。

(4) 平成26年度以降の改善・方向性

有資格指導者の養成を進める。

○ 拡大・充実 ● 現状維持
 ○ 見直し ○ 民間委託
 ○ 廃止・統合

事務事業評価票(平成24年度決算評価)

平成 25 年 5 月 31 日 現在

1 事務事業の基本情報

事務事業名	青少年健全育成及び青少年団体育成事業		事務事業番号	1042010	
総合計画 基本計画 体系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	担当部課名	社会教育部青少年育 成課
	目標とする10年 後の声屋の姿	4	子どもたちが社会へ羽ばたけるようたくましく育て ている		
	施策目標	4-2	青少年が社会で自立するための力を身につけて いる		
事務の区分	自治事務	実施期間	平成18年度～		
実施区分	直営	会計区分	一般会計		
根拠法令等	芦屋市補助金交付要綱, 社会教育法, 国民の祝日に関する事務次官通達				

2 事務事業の概要等

事務事業の 目的 対象・意図	対象	青少年団体や子ども会活動の自立を目指す。			
	意図	青少年団体や子ども会活動の支援を行い青少年の自覚と責任の醸成を促す。			
大きな目的	次世代を担う青少年の健全育成を図る。				
全体概要	<input type="checkbox"/> 成人式の開催 <input type="checkbox"/> 芦屋市子ども会連絡協議会活動費補助 <input type="checkbox"/> 丹波少年自然の家の維持・運営 <input type="checkbox"/> 青少年育成事業展開				
委託・指定管理者 制度の導入等	<input checked="" type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度を導入	委託先等の名称	芦屋市成人式企画チーム	
委託内容等	成人式の企画運営				
産学協働連携 をしていますか	<input type="checkbox"/> 連携あり	<input checked="" type="checkbox"/> 連携なし	連携先		

3 事務事業の経費

事業費	構成(%)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	平成24年度決算について
内訳(千円)					住民1人当たり(円)
人件費	41%	5,100	6,592		166.65
事業費	59%	9,782	9,412	11,152	367.63
他部門経費					1世帯あたり(円)
減価償却費					96,036
合計	100%	14,882	16,004	11,152	43,533
財源(千円)					平成24年4月1日現在の 住民基本台帳と外国人登録の合計
国費					特記事項・備考
県費					
市債					
その他					
一般財源	100%	14,882	16,004	11,152	
合計	100%	14,882	16,004	11,152	
活動					
職員	87%	0.70	0.90		
嘱託・臨職等	13%	0.13	0.13		
配分(人)					
合計	100%	0.83	1.03	0.00	

4 平成24年度の実施内容

24年度目標	青少年育成事業の活性化 子ども会活動の促進
(1) 平成24年度の実施内容(実績値, 達成状況, 事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は, 必ず盛り込むこと。 単位(例:人, 千円など)は, 必ず明示してください	<ul style="list-style-type: none"> 青少年育成事業(小学生レクリエーションキャンプの開催等)(350千円) 青少年育成関係一般事務費(169千円) 成人式の開催(1,000千円) 青少年団体及びリーダー育成事業(250千円) 丹波少年自然の家建設費分担金(1,719千円) 青少年育成事業費(丹波少年自然の家運営負担金)(5,924千円)
(2) 平成24年度の改善内容	単位(例:人, 千円など)は, 必ず明示してください。 成人式企画チームとの調整

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 事業実施に妥当性があるか(複数回答可)	<input type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠または貢献度が高い <input type="checkbox"/> 貢献度が不明確, または高い
理由	
(2) 市が実施すべきものか, 民間で対応可能か。	<input checked="" type="checkbox"/> 市が行うもの <input type="checkbox"/> 民間で対応可能 <input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている
理由	事業により民間活力の活用は必要。
(3) 目標に対して達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 概ね達成した <input type="checkbox"/> 一部達成した <input type="checkbox"/> ほとんど達成していない
理由	各事業は, 特段の事故もなく概ね円滑に実施できている。
(4) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	<input type="checkbox"/> 改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ある程度改善の余地がある <input type="checkbox"/> ほとんど改善の余地はない
理由	新成人の企画チームへの支援については改善の余地がある。

6 課題への対応・方向性

(1) 現在認識している課題	青少年育成事業の活性化	部長名 中村 尚代
誰から	内容	<ul style="list-style-type: none"> 成人式については, 新成人の企画によって概ね好評に開催できていることから, 今後は企画チームへの支援についての工夫が必要と思われます。 青少年育成事業の活性化は, リーダーの育成も含め, 子ども会活動の促進へとつなぐことで好循環が期待できるため, 継続した取り組みが必要と考えます。
(2) 市民, 関係者からの要望等		
(3) 平成25年度の目標・改善内容(数値目標含む)	青少年育成事業の活性化 子ども会活動の促進	
(4) 平成26年度以降の改善・方向性	青少年育成事業の活性化 子ども会活動の促進	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合

事務事業評価票(平成24年度決算評価)

平成 25 年 5 月 31 日 現在

1 事務事業の基本情報

事務事業名	青少年問題協議会経費			事務事業番号	1042020
総合計画 基本計画 体系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	担当部課名	社会教育部青少年育 成課
	目標とする10年 後の声の姿	4	子どもたちが社会へ羽ばたけるようたくましく育て ている		
	施策目標	4-2	青少年が社会で自立するための力を身につけて いる	課長名	田中 徹
事務の区分	自治事務	実施期間			
実施区分	直営	会計区分		一般会計	
根拠法令等	地方青少年問題協議会法、声屋市青少年問題協議会条例、声屋市青少年問題協議会条例施行規則				

2 事務事業の概要等

事務事業の 目的 対象・意図	対象	青少年			
	意図	青少年の健全な育成に資するとともに健全な社会生活を営む。			
大きな目的	青少年の指導、育成、保護、矯正に関する総合的施策を樹立する。				
全体概要	<input type="checkbox"/> 総合的施策の樹立につき重要事項を調査審議する。 <input type="checkbox"/> 総合的施策の適切な実施を期するために関係行政機関相互の連絡調整を図る。 <input type="checkbox"/> 上記の事項に関し市長及び区域内の関係行政機関に意見を述べることができる。				
委託・指定管理者 制度の導入等	<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度を導入	委託先等の名称		
委託内容等					
産学協働連携 をしていますか	<input type="checkbox"/> 連携あり	<input checked="" type="checkbox"/> 連携なし	連携先		

3 事務事業の経費

事業費	構成(%)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	平成24年度決算について
内訳 (千円)	人件費	97%	1,481	1,625	住民1人当たり(円) 17.40
	事業費	3%	57	46	1世帯あたり(円) 38.38
	他部門経費				人口 96,036
	減価償却費				世帯数 43,533
合計	100%	1,538	1,671	80	平成24年4月1日現在の 住民基本台帳と外国人登録の合計 特記事項・備考
財源 (千円)	国費				
	県費				
	市債				
	その他				
合計	100%	1,538	1,671	80	
活動 配分 (人)	職員	100%	0.15	0.20	
	嘱託・臨職等				
	合計	100%	0.15	0.20	0.00

4 平成24年度の実施内容

24年度目標	青少年問題については各関係所管で取り組んでいる状況から、統括的に取りまとめる部署がなく、適切な組織改正が必要である。
(1) 平成24年度の実施内容(実績値、達成状況、事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。 単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください	青少年問題協議会委員10名で構成。 声屋市青少年問題協議会を8月に開催。(46千円)
(2) 平成24年度の改善内容	青少年問題を取りまとめる部署の設置を検討・実施した。 単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください。

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 事業実施に妥当性があるか(複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠または貢献度が高い <input type="checkbox"/> 貢献度が不明確、または高くない
理由	法律に基づいて設置されている。
(2) 市が実施すべきものか、民間で対応可能か。	<input checked="" type="checkbox"/> 市が行うもの <input type="checkbox"/> 民間で対応可能 <input type="checkbox"/> 他団体では見直しが行われている
理由	施策の協議や行政機関間の連絡調整を主目的としており、民間では対応できない。
(3) 目標に対して達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 概ね達成した <input checked="" type="checkbox"/> 一部達成した <input type="checkbox"/> ほとんど達成していない
理由	青少年に関する最近の問題について共有することができた。
(4) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 改善の余地がある <input type="checkbox"/> ある程度改善の余地がある <input type="checkbox"/> ほとんど改善の余地はない
理由	地方青少年問題協議会法の改正を踏まえ、組織の構成と役割について見直しが必要である。

6 課題への対応・方向性

(1) 現在認識している課題	部長名 中村 尚代
社会情勢に応じた青少年の問題に臨機応変に対応できる体制を構築していく必要がある。	現在、転換期であることを認識し、当面は現状に則した会議開催に努めることが肝要と思われます。 今後は法の改正を踏まえ、適正な時期に自由闊達に協議できる体制を再構築することが必要と考えます。
(2) 市民、関係者からの要望等	
誰から	内容
(3) 平成25年度の目標・改善内容(数値目標含む)	地方青少年問題協議会法の改正を踏まえた協議会の改編について検討する。
(4) 平成26年度以降の改善・方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合

事務事業評価票(平成24年度決算評価)

1 事務事業の基本情報 平成 25 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	青少年保護対策事業(芦屋市留守家庭児童会事業)		事務事業番号	1052070
総合計画 基本計画 体系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	担当部課名 社会教育部青少年育 成課
	目標とする10年 後の芦屋の姿	5	地域で安心して子育てができてい	
	施策目標	5-2	子育てと仕事の両立を可能にする環境が整って いる	
課長名	田中 徹			
事務の区分	自治事務	実施期間	昭和42年度～	
実施区分	直営	会計区分	一般会計	
根拠法令等	児童福祉法、社会福祉法、芦屋市留守家庭児童会条例及び同施行規則、芦屋市留守家庭児童会要綱			

2 事務事業の概要等

対象	保護者が就労等で昼間家庭にいないため、適切な保護育成に欠ける小学1年から3年生	
事務事業の 目的 対象・意図	保護者が就労等で昼間家庭にいないため、適切な保護育成に欠ける小学1年から3年生を対象に、集団による遊びをとおり仲間づくりを行う。	
大きな目的	放課後児童の健全育成を図る。	
全体概要	<input type="checkbox"/> 芦屋市留守家庭児童会 設置場所:市内小学校(計10学級) 開設日:月曜日から土曜日(日曜日、祝日、8/12～16、12/29～1/3、事務日を除く) 開設時間:平日(月～金)は放課後から午後5時。*延長保育は午後5時から午後7時。土曜日は午前9時から午後5時。(ただし冬期の11月から12月は午後4時30分まで。) 学校休業日は8時30分から午後5時。	
委託・指定管理者 制度の導入等	<input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度を導入	委託先等の名称
委託内容等		
産学協働連携 をしていますか	<input type="checkbox"/> 連携あり <input checked="" type="checkbox"/> 連携なし	連携先

3 事務事業の経費

事業費	構成(%)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	平成24年度決算について
内訳(千円)					住民1人当たり(円) 2,221.05 1世帯あたり(円) 4,899.75
人件費	85%	95,674	180,429		人口 96,036
事業費	15%	8,262	31,526	160,822	世帯数 43,533
他部門経費	1%		1,346		
減価償却費					
合計	100%	103,936	213,301	160,822	平成24年4月1日現在の 住民基本台帳と外国人登録の合計 特記事項・備考
財源(千円)					
国費					
県費	20%	21,614	42,809	26,250	
市債					
その他	16%	28,341	33,507	30,639	
一般財源	64%	53,981	136,985	103,933	
合計	100%	103,936	213,301	160,822	
活動配分(人)					
職員	5%	1.85	2.81		
嘱託・臨職等	95%	50.62	50.46		
合計	100%	52.47	53.27	0.00	

4 平成24年度の実施内容

24年度目標	放課後保育において、延長保育・土曜日保育の一体化した運営ができるよう民間活力の導入等検討を行う。
(1) 平成24年度の実施内容(実績値、達成状況、事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください	①全8小学校10学級で留守家庭児童会を運営(3,990千円) 全定数 435人 登録児童数(H24.4.1現在) 405名 ②待機児童を出さないことへの対応 ・しおかぜ学級(潮見小学校)を2学級に増設 ・はまゆう学級(打出浜小学校)を2学級に増設 ③保育環境の拡充 ・はまゆう学級専用棟の新設(27,536千円)
(2) 平成24年度の改善内容 単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください。	保育環境の改善(しおかぜ学級の増級準備・冷暖房取替工事、すぎのこ学級のカーペット張替え、なかよし学級(宮川小学校)冷暖房取替工事等)

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 事業実施に妥当性があるか(複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠または貢献度が高い <input type="checkbox"/> 貢献度が不明確、または高くない
理由	保育にかける児童の健全育成と子育てと仕事の両立を図る子育て支援への社会的要請は年々高まっている。
(2) 市が実施すべきものか、民間で対応可能か。	<input type="checkbox"/> 市が行うもの <input checked="" type="checkbox"/> 民間で対応可能 <input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている
理由	民間が実施する学童クラブ事業も広がっており、民間活力の導入を視野に入れて運用していく必要がある。
(3) 目標に対して達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 概ね達成した <input type="checkbox"/> 一部達成した <input checked="" type="checkbox"/> ほとんど達成していない
理由	施設の拡充や経常の運営業務に追われ、民間活力を生かした運営については検討できていない。
(4) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	<input type="checkbox"/> 改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ある程度改善の余地がある <input type="checkbox"/> ほとんど改善の余地はない
理由	子ども子育て三法への対応や国が策定する基準を踏まえ、対応していく必要がある。

6 課題への対応・方向性

(1) 現在認識している課題	若千の地域差はあるが登録児童数は増加傾向にあり、施設の拡充が求められている。 子ども子育て三法への対応。	部長名 中村 尚代
(2) 市民、関係者からの要望等	すぎのこ学級保護者会 内容 定数を超過して過密状態にあるとして、その対応を求めているもの	児童数の増加に伴う普通学級の不足もあり、各小学校内での留守家庭児童会の施設拡充はハードルの高い状況ではあるが、その中でも工夫を凝らし、待機児童を出さないという基本方針に基づき運営できていることは評価できます。 今後は国から示される新たな基準を注視し、平成27年4月からの子ども子育て関係法の改正への対応を抜かりなく進め、抜本的な変革の検討を含め、円滑な事業運営に努める必要があるものと考えます。
(3) 平成25年度の目標・改善内容(数値目標含む)	すぎのこ学級の環境改善。 来年度の登録児童数増加への対応。 子ども子育て三法への対応の準備。	
(4) 平成26年度以降の改善・方向性	子ども子育て三法への対応。	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合

事務事業評価票(平成24年度決算評価)

平成 25 年 5 月 31 日 現在

1 事務事業の基本情報

事務事業名	市民センター管理運営		事務事業番号	1021070	
総合計画 基本 施策 体系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	担当部課名	社会教育部市民センター
	目標とする10年 後の戸屋の姿	2	多様な文化・スポーツ・芸術・伝統が交流するまちで、戸屋の文化があふれている		
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある	課長名	高田
事務の区分	自治事務		実施期間	昭和38年度～	
実施区分	直営, 委託		会計区分	一般会計	
根拠法令等	市民センター運営条例(市民会館条例, 公民館設置条例, 福祉会館条例, 老人福祉会館条例)				

2 事務事業の概要等

対象	市民センター利用者				
事務事業の目的・意図	市民センターの施設, 設備を良好に維持するとともに, 市民のニーズに対応できるよう配置し, 来館者(市民)が安全・快適に利用し, もって市民の文化振興に資する。				
大きな目的	市民の生活文化の向上と教育の振興				
全体概要	<input type="checkbox"/> 生涯学習や社会福祉活動の場の提供。 一般事務費 業務委託料(清掃・設備・舞台) その他維持管理費(光熱水費含む) 賃金				
委託・指定管理者制度の導入等	<input checked="" type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度を導入	委託先等の名称	シルバー人材センター(施設管理), 戸屋クリーンサービス(清掃), 三木美研舎(機械・電気設備保全), 大道具サンシャイン(舞台)	
委託内容等	施設管理, 清掃, 機械・電気設備保全, 舞台				
産学協働連携をしていますか	<input type="checkbox"/> 連携あり	<input checked="" type="checkbox"/> 連携なし	連携先		

3 事務事業の経費

事業費	構成(%)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	平成24年度決算について
人件費	9%	15,712	18,260	111,645	住民1人当たり(円) 2,004.64
事業費	53%	110,789	101,397	111,645	1世帯あたり(円) 4,422.35
他部門経費					人口 96,036
減価償却費	38%	72,861	72,861	111,645	世帯数 43,533
合計	100%	199,362	192,518	111,645	平成24年4月1日現在の 住民基本台帳と外国人登録の合計
国費					特記事項・備考
市債					
その他	3%	66,746	71,064	111,645	
一般財源	63%	132,616	121,454	111,645	
合計	100%	199,362	192,518	111,645	
活動配分(人)					
職員	23%	1.10	1.10		
嘱託・臨職等	77%	2.49	3.59		
合計	100%	3.59	4.69	0.00	

4 平成24年度の実施内容

24年度目標	窓口対応の向上を図る。 指定管理者制度導入に向けた調査研究を行い, 導入を進める。 113室と114室の利用促進を図る。		
(1) 平成24年度の実施内容(実績値, 達成状況, 事業費(決算)の内訳など)	事業費(決算)の内訳は, 必ず盛り込むこと。 単位(例:人, 千円など)は, 必ず明示してください		
会館利用率	午前	午後	夜間
市民会館	58.0%	66.3%	36.5%
大ホール	52.0%	54.3%	37.4%
小ホール	14.5%	91.8%	33.6%
楽屋	28.3%	30.0%	18.9%
公民館			
集会室	31.5%	37.6%	12.1%
目的室	37.5%	41.4%	20.3%
展示室	69.2%	69.2%	62.6%
(2) 平成24年度の改善内容	単位(例:人, 千円など)は, 必ず明示してください。		
委託している窓口担当職員の一部を入れ替えた。 ルナ・ホール内の階段の一部に手すりをつけ, また, ルナ・ホール内の階段のノンスリップの色を白色に塗り替え, 視認性を向上させ, バリアフリー化を進めた。			

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 事業実施に妥当性があるか (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確, または高くない	
理由				
(2) 市が実施すべきものか, 民間で対応可能か。	<input type="checkbox"/> 市が行うもの	<input checked="" type="checkbox"/> 民間で対応可能	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている	
理由				
(3) 目標に対して達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 概ね達成した	<input type="checkbox"/> 一部達成した	<input type="checkbox"/> ほとんど達成していない
理由				
(4) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	<input type="checkbox"/> 改善の余地がある	<input type="checkbox"/> ある程度改善の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> ほとんど改善の余地はない	
理由				

6 課題への対応・方向性

(1) 現在認識している課題	窓口業務が部屋の貸出しだけでなく, 備品や設備の貸出しも行っているため, 見掛けよりも複雑な業務となっている。また, ルナ・ホールの使用についても通常の部屋貸しとは違った特殊性がある。窓口業務の整理を固りつつ, できれば, 民間委託化を実施したいところだが, 窓口だけの委託では対応しきれない部分が大い。また, 仮に委託しようとしても, 業者の選定段階で価格優先で事業者が決まってしまう傾向が強く, 信頼性が高い業者の選定がしにくい。また, 年次的な修繕計画がなく, 施設管理が場当たり的なになっている。	
(2) 市民, 関係者からの要望等	誰から	内容
(3) 平成25年度の目標・改善内容(数値目標含む)	窓口業務で, 一部が民間事業者への委託, 一部が市直営となっており, 全体を民間事業者への委託が可能か, サービスの改善が図れないか検討する。	
(4) 平成26年度以降の改善・方向性	民間委託の実施状況を検証しながら, 指定管理者制度導入に向けた調査研究を行い, 導入を進める。	

7 部長の2次評価

部長名	中村 尚代
評価内容	窓口業務の範囲拡大は理解しますが, 現在, 市民サービスアンケートなどで窓口対応の悪さが指摘されることが多いため, 価格重視にこだわらず, 接客対応の改善を目指した選定方法の検討が必要と考えます。
評価結果	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input checked="" type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合

事務事業評価票(平成24年度決算評価)

1 事務事業の基本情報 平成 25 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	市民会館文化事業		事務事業番号	1021080	
総合計画 基本計画 実施	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	担当部課名	社会教育部市民センター
	目標とする10年 後の戸屋の姿	2	多様な文化・スポーツ・芸術・伝統が交流するまちで、戸屋の文化があふれている		
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある	課長名	高田
事務の区分	自治事務		実施期間	昭和38年度～	
実施区分	直営		会計区分	一般会計	
根拠法令等	市民センター運営条例 市民センター運営条例施行規則				

2 事務事業の概要等

事務事業の目的・意図	対象	各種文化団体や絵画創作活動に親しんでいる人			
意図		市民文化の振興を図ることを目的として、各種文化団体が1年間の成果を発表するため、又絵画創作活動に親しんでいる方を対象にホールや展示場を利用して、発表及び鑑賞の場として開催している。			
大きな目的		市民文化の振興			
全体概要		ルナ・ホールや市民会館・展示場を利用して、発表及び鑑賞の場を提供している。 □市民絵画展 □市民ギャラリー・ステージ			
委託・指定管理者制度の導入等	□ 委託	□ 指定管理者制度を導入	委託先等の名称		
委託内容等					
産学協働連携をしていますか	□ 連携あり	<input checked="" type="checkbox"/> 連携なし	連携先		

3 事務事業の経費

事業費	構成(%)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	平成24年度決算について
人件費	82%	4,989	2,230		住民1人当たり(円) 28.44
事業費	18%	516	501	957	1世帯あたり(円) 62.73
他部門経費					人口 96,036
減価償却費					世帯数 43,533
合計	100%	5,505	2,731	957	平成24年4月1日現在の 住民基本台帳と外国人登録の合計
国費					特記事項・備考
市債					
その他	9%	462	234		
一般財源	91%	5,043	2,497	957	
合計	100%	5,505	2,731	957	
活動費	50%	0.55	0.20		
職・嘱託・臨職等	50%	0.20	0.20		
合計	100%	0.75	0.40	0.00	

4 平成24年度の実施内容

24年度目標	市民ギャラリーの適切な日数を検討するため参加者にアンケートを実施する。		
(1) 平成24年度の実施内容(実績値, 達成状況, 事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。 単位(例:人, 千円など)は、必ず明示してください			
市民絵画展 出品数	50点	観覧者数	583人
市民ステージ 参加団体	11団体	入場者数	3,161人
市民ギャラリー 参加団体	12団体	来場者数	5,116人
芦屋夢ステージ 参加団体	1団体	入場者数	438人
(2) 平成24年度の改善内容 単位(例:人, 千円など)は、必ず明示してください。 市民ギャラリーのアンケート結果では、時期は引き続き秋が良く、日数は4日の希望が多く、5日の希望あったため、参加者は従来どおりの事業実施を望んでいる。			

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 事業実施に妥当性があるか (複数回答可)

事業の主目的は明確である 事業成果が上位施策に不可欠または貢献度が高い 貢献度が不明確、または高くない

理由

(2) 市が実施すべきものか、民間で対応可能か。

市が行うもの 民間で対応可能 他団体では見直しがされている

理由

(3) 目標に対して達成できたか。

達成した 概ね達成した 一部達成した ほとんど達成していない

理由

(4) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。

改善の余地がある ある程度改善の余地がある ほとんど改善の余地はない

理由

6 課題への対応・方向性

(1) 現在認識している課題

参加団体が毎年、ほぼ同じである。
市民絵画展、市民ギャラリー、市民ステージの事業では、公民館事業の多くを民間事業者へ委託していることもあり、民間事業者による運営委託をどう意見もあるが、従来から、参加者・参加団体が限られ、過去の経過を含めて整理する必要がある。民間委託に当たっては配慮が必要である。夢ステージについては、実際のイベントは良いものができあがっていると評価しているが、一面、単なる費用の助成という形にもなりつつあるので、今後のあり方を検討が必要と感じている。また、市民文化の助成的性格が大きく、事業の民間委託は不適である。

(2) 市民、関係者からの要望等

誰から 市民から

内容 市民ギャラリー、市民ステージの間、施設が利用できない。

(3) 平成25年度の目標・改善内容(数値目標含む)

市民ギャラリーのアンケート結果では、今までの形を維持して実施してほしいという声が強かったこともあり、大きな変更は行わない。

(4) 平成26年度以降の改善・方向性

市民絵画展、市民ステージ、市民ギャラリーは従来を踏襲してほしいという参加者からの声もあり、引き続き実施する。

7 部長の2次評価

部長名 中村 尚代

市民の文化活動の場・秋の文化祭として有効な施策ですが、課題解決に向けた啓発の拡大が必要と考えます。

○ 拡大・充実 ● 現状維持
○ 見直し ○ 民間委託
○ 廃止・統合

事務事業評価票(平成24年度決算評価)

平成 25 年 5 月 31 日 現在

1 事務事業の基本情報

事務事業名	ルナ・ホール事業費		事務事業番号	1021090	
総合計 基本 画 系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	担当部課名	社会教育部市民センター
	目標とする10年 後の芦屋の姿	2	多様な文化・スポーツ・芸術・伝統が交流するまちで、芦屋の文化があふれている		
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある	課長名	高田
事務の区分	自治事務		実施期間	平成18年度～	
実施区分	直営、委託		会計区分	一般会計	
根拠法令等	市民センター運営条例 市民センター運営条例施行規則				

2 事務事業の概要等

事務事業の 目的 対象・意 図	対象	音楽コンサート、落語、映画等の芸術鑑賞者			
	意図	市民文化の振興を図ることを目的として、音楽コンサート、落語、映画会等鑑賞の場を提供する。			
大きな目的	市民文化の振興				
全体概要	〇ルナ・ホールを利用して、発表及び鑑賞の場を提供する。				
委託・指定管理者 制度の導入等	<input checked="" type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度を導入	委託先等の名称	河内厚郎事務所	
委託内容等					
産学協働連携 をしていますか	<input type="checkbox"/> 連携あり	<input checked="" type="checkbox"/> 連携なし	連携先		

3 事務事業の経費

事業費	構成(%)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	平成24年度決算について
人件費	15%	8,551	2,137		住民1人当たり(円) 152.86
事業費	85%	13,034	12,543	14,642	1世帯あたり(円) 337.22
他部門経費					人口 96,036
減価償却費					世帯数 43,533
合計	100%	21,585	14,680	14,642	平成24年4月1日現在の 住民基本台帳と外国人登録の合計
国費					特記事項・備考
市債					
その他	36%	5,510	5,350		
一般財源	64%	16,075	9,330	14,642	
合計	100%	21,585	14,680	14,642	
活動費	56%	1,00	0,25		
嘱託・臨職等	44%	0,30	0,20		
合計	100%	1,30	0,45	0,00	

4 平成24年度の実施内容

24年度目標	民間事業者による事業が適切に行われているかどうか、25年度の事業計画が適切に作成されているかどうかを注視し、評価する。	
(1) 平成24年度の実施内容(実績値、達成状況、事業費(決算)の内訳など)	事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください	
ホール事業	入場者数	
落語 2回	807人	
松永貴志スペシャルコラボレーション	525人	
武智鉄二生誕100周年フォーラム	366人	
クリスマス音楽の源流を訪ねて	160人	
あしやティアフル映画祭	666人	
第3回芦屋文学サロンラジオ関西電話リクエスト	303人	
いきいきシネマサロン 5回	2,888人	
芦屋ファッションクロニクル	182人	
(2) 平成24年度の改善内容	単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください。	
民間委託による事業を実施した。 入場者数は減少したが、武智鉄二生誕100周年フォーラムなど芦屋市ならではの、委託事業者ならではの事業を実施できた。 公民館展示事業と関連したルナ・ホール事業の実施した。(第3回芦屋文学サロンラジオ関西電話リクエスト)		

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 事業実施に妥当性があるか (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠または貢献度が高い	<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確、または高くない	
理由				
(2) 市が実施すべきものか、民間で対応可能か。	<input type="checkbox"/> 市が行うもの	<input checked="" type="checkbox"/> 民間で対応可能	<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている	
理由				
(3) 目標に対して達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 概ね達成した	<input type="checkbox"/> 一部達成した	<input type="checkbox"/> ほとんど達成していない
理由				
(4) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	<input type="checkbox"/> 改善の余地がある	<input type="checkbox"/> ある程度改善の余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> ほとんど改善の余地はない	
理由				

6 課題への対応・方向性

(1) 現在認識している課題	民間事業者が提案したルナ・ホールに対し、適切な評価ができる市職員の育成と、将来に向け安定した事業運営の実現すること。 芦屋にふさわしい、芦屋の魅力を発掘・発信するルナ・ホール事業を実施したいが、公演がルナ・ホールでの1回限りになる場合が多く、コストがかかる。また、市民の中には自分の活動を市の事業として取り上げてもらいたいという声もある。さらに、今はルナ・ホール事業を委託しており、その入場料収入は市の歳入に入り事業受託者には入らない仕組みであり、事業受託者の士気が上がりにくい。以上のことを勘案しながら、事業受託者と事業内容を協議し進めていくことに市は格段の配慮をする必要がある。		部長名 中村 尚代
(2) 市民、関係者からの要望等	誰から	内容	現在の実施事業においては、委託化した意義のある民間のノウハウを生かし、かつ施政方針に則した、芦屋の魅力を発掘・発信する内容の取り組みに努めてください。課題とする収支の仕組みについては、今後の指定管理等、運営の方式の決定時に整理されるものと考えます。
	市民から、事業企画会社から	自分の関係する企画を市主催のルナ・ホール事業として実施してほしい。	
(3) 平成25年度の目標・改善内容(数値目標含む)	芦屋の魅力を発掘・発信する事業を実施する。		
(4) 平成26年度以降の改善・方向性	引き続き、民間事業者による委託を継続する。		
	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合		

事務事業評価票(平成24年度決算評価)

1 事務事業の基本情報 平成 25 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	講演・講座・学級・教室等の開催		事務事業番号	1021100
総合計 基本 画 画 系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	担当部課名 社会教育部公民館
	目標とする10年 後の戸屋の姿	2	多様な文化・スポーツ・芸術・伝統が交流するまち で、戸屋の文化があふれている	
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある	課長名 高田
事務の区分	自治事務	実施期間	昭和29年度～	
実施区分	直営、委託	会計区分	一般会計	
根拠法令等	社会教育法(第20条及び第22条)、戸屋市立公民館設置条例(第3条)			

2 事務事業の概要等

事務事業の 目的 対象・意 意 図	対象	生涯学習の機会を求めている人		
	意図	さまざまな学習機会の提供。		
大きな目的	生涯学習の推進を図る			
全体概要	<input type="checkbox"/> 市民の学習ニーズ及び市の教育方針に基づいて、講演・講座・学級・教室等を開催する。 <input type="checkbox"/> 学習情報の提供と学習方法の相談、グループ育成を行う。			
委託・指定管理者 制度の導入等	<input checked="" type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度を導入	委託先等の名称	河内厚郎事務所
委託内容等	公民館講座事業と受講料収納事務			
産学協働連携 をしていますか	<input type="checkbox"/> 連携あり	<input checked="" type="checkbox"/> 連携なし	連携先	

3 事務事業の経費

事業費	構成(%)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	平成24年度決算について
人件費	14%	6,198	1,068		住民1人当たり(円) 78.37
事業費	86%	3,909	6,458	7,030	1世帯あたり(円) 172.88
他部門経費					人 口 96,036
減価償却費					世 帯 数 43,533
合計	100%	10,107	7,526	7,030	平成24年4月1日現在の 住民基本台帳と外国人登録の合計
国費					特記事項・備考
市債					
その他	38%	3,839	2,852		
一般財源	62%	6,268	4,674	7,030	
合計	100%	10,107	7,526	7,030	
活動費	20%	1.25	0.05		
嘱託・臨職等	80%		0.20		
合計	100%	1.25	0.25	0.00	

4 平成24年度の実施内容

24年度目標	民間事業者による事業が適切に行われているかどうか、25年度の事業計画が適切に作成されるかどうか注視し、評価する。
(1) 平成24年度の実施内容(実績値、達成状況、事業費(決算)の内訳など)	事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください
講座等	18講座 84回 受講者数 1,137人 延べ出席者数 4,678人 この他に1回だけの出席者589人あり
講演会・セミナー等	11回 延べ参加人数 1,343人
幼稚園に出かける「幼児教育講座」	9回 延べ出席者数 480人
にほんごがっさゆう	47回 延べ出席者数 210人
NHK公開セミナー(共催)	2回 延べ参加人数 1,175人
公民館子ども教室	18回 延べ参加人数 401人
(2) 平成24年度の改善内容	単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください。
受講者数が減少したが、受講者アンケートは概ね好評である。	

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 事業実施に妥当性があるか (複数回答可)

事業の主目的は明確である 事業成果が上位施策に不可欠または貢献度が高い 貢献度が不明確、または高くない

理由

(2) 市が実施すべきものか、民間で対応可能か。

市が行うもの 民間で対応可能 他団体では見直しがされている

理由

(3) 目標に対して達成できたか。

達成した 概ね達成した 一部達成した ほとんど達成していない

理由

(4) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。

改善の余地がある ある程度改善の余地がある ほとんど改善の余地はない

理由

6 課題への対応・方向性

(1) 現在認識している課題

民間事業者が提案した講座やセミナーに対し、適切な評価ができる市職員の育成と、将来にわたって安定した事業運営の実現をすること。

(2) 市民、関係者からの要望等

誰から	内容

(3) 平成25年度の目標・改善内容(数値目標含む)

引き続き、民間事業者による事業が適切に行われているかどうか、次年度の事業計画が適切に作成されるかどうか注視し、評価する。

(4) 平成26年度以降の改善・方向性

引き続き、民間事業者による委託を継続する。

7 部長の2次評価

部長名|中村 尚代

民間委託化しましたが、本市直営時代から大切に育んできた趣旨を継承し、かつ民間事業者のノウハウを生かした事業が実施できたものと考えます。今年度も安定した事業運営を行い、引き続き、市民の支持が得られる内容の取り組みに努めてください。課題とする職員の育成については、他市の事業運営や事業運営の研修を参考に、また関係者でのディスカッション等により資質の育成及び継承に努めてください。

拡大・充実 現状維持
 見直し 民間委託
 廃止・統合

事務事業評価票(平成24年度決算評価)

1 事務事業の基本情報 平成 25 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	芦屋川カレッジ・芦屋川カレッジ大学院		事務事業番号	1021110
総合計画 基本計画 画 画 系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	担当部課名 社会教育部公民館
	目標とする10年 後の芦屋の姿	2	多様な文化・スポーツ・芸術・伝統が交流するまちで、芦屋の文化があふれている	
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある	課長名 高田
事務の区分	自治事務	実施期間	昭和60年度～	
実施区分	委託	会計区分	一般会計	
根拠法令等	社会教育法(第20条及び22条)、芦屋市立公民館設置条例(第3条)			

2 事務事業の概要等

事務事業の対象・意図	対象 60歳以上の市民 60歳以上の市民を対象に学習の機会を提供し、教養を高め、活発な交流を実現する。芦屋川カレッジ修生がより高度な教養を身につけ、受講生間の仲間作りに取り組む。
大きな目的	生涯学習の推進を図る
全体概要	<input type="checkbox"/> 芦屋川カレッジ事業 <input type="checkbox"/> 芦屋川カレッジ大学院事業
委託・指定管理者制度の導入等	<input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度を導入 委託先等の名称 河内厚郎事務所
委託内容等	芦屋川カレッジ、聴講生、大学院の事業企画と実施、受講料収納業務
産学協働連携をしていますか	<input type="checkbox"/> 連携あり <input type="checkbox"/> 連携なし 連携先

3 事務事業の経費

事業費	構成(%)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	平成24年度決算について
人件費	14%	8,140	1,068		住民1人当たり(円) 80.23
事業費	86%	2,371	6,637	7,000	1世帯あたり(円) 176.99
他部門経費					人 口 96,036
減価償却費					世 帯 数 43,533
合計	100%	10,511	7,705	7,000	平成24年4月1日現在の 住民基本台帳と外国人登録の合計 特記事項・備考
国費					
市債					
その他	39%	2,783	2,986		
一般財源	61%	7,728	4,719	7,000	
合計	100%	10,511	7,705	7,000	
活動費	20%	0.75	0.05		
職 員	80%	1.00	0.20		
嘱託・臨職等					
合計	100%	1.75	0.25	0.00	

4 平成24年度の実施内容

24年度目標	民間事業者による事業が適切に行われているかどうか、25年度の事業計画が適切に作成されるかどうか注視し、評価する。
(1) 平成24年度の実施内容(実績値、達成状況、事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。 単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください	芦屋川カレッジ 必修コース 36回 選択コース(うるおい・探訪) 各15回 男性 45人 女性 57人 平均年齢 67歳 平均出席率 90% 芦屋川カレッジ聴講生 男性 58人 女性 53人 平均出席率 68% 芦屋川カレッジ大学院 男性 42人 女性 67人 世界遺産への旅 12回 平均出席率 84%
(2) 平成24年度の改善内容 市直営時代(平成23年度まで)と同様、平成24年度も事業を民間事業者により実施できた。	単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください。

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 事業実施に妥当性があるか (複数回答可)

事業の主目的は明確である 事業成果が上位施策に不可欠または貢献度が高い 貢献度が不明確、または高くない

理由

(2) 市が実施すべきものか、民間で対応可能か。

市が行うもの 民間で対応可能 他団体では見直しがされている

理由

(3) 目標に対して達成できたか。

達成した 概ね達成した 一部達成した ほとんど達成していない

理由

(4) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。

改善の余地がある ある程度改善の余地がある ほとんど改善の余地はない

理由

6 課題への対応・方向性

(1) 現在認識している課題
民間事業者が提案したカリキュラムに対し、適切な評価ができる市職員の育成と、将来にわたって安定した事業運営をすること。

(2) 市民、関係者からの要望等

誰から	内容

(3) 平成25年度の目標・改善内容(数値目標含む)
引き続き、民間事業者による事業が適切に行われているかどうか、次年度の事業計画が適切に作成されるかどうか注視し、評価する。

(4) 平成26年度以降の改善・方向性
引き続き、民間事業者による委託を継続する。

7 部長の2次評価

部長名 | 中村 尚代

引き続き、民間事業者による運営を実施し、市民の自主性を重視した安定したカレッジ運営に努めてください。
課題とする職員の育成については、他市の事業運営や事業運営の研修を参考に、また関係者でのディスカッション等により資質の育成及び継承に努めてください。

○ 拡大・充実 ● 現状維持
○ 見直し ○ 民間委託
○ 廃止・統合

事務事業評価票(平成24年度決算評価)

1 事務事業の基本情報 平成 25 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	芦屋市立公民館運営審議会等		事務事業番号	1021120
総合計画 基本計画 体系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	担当部課名 社会教育部公民館
	目標とする10年 後の芦屋の姿	2	多様な文化・スポーツ・芸術・伝統が交流するまち で、芦屋の文化があふれている	
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある	課長名 高田
事務の区分	自治事務	実施期間	昭和28年度～	
実施区分	直営	会計区分	一般会計	
根拠法令等	社会教育法(第20条、22条、29条)、芦屋市立公民館設置条例(第3条及び15条)			

2 事務事業の概要等

対象	公民館利用者
事務事業の 目的 対象・意図	公民館の諮問機関として公民館運営審議会委員を委嘱する。公民館の一般管理運営費に要する経費。
大きな目的	生涯学習の推進を図る
全体概要	公民館運営審議会委員は、館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画、実施につき調査審議する。
委託・指定管理者 制度の導入等	<input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度を導入 委託先等の名称
委託内容等	
産学協働連携 をしていますか	<input type="checkbox"/> 連携あり <input type="checkbox"/> 連携なし 連携先

3 事務事業の経費

事業費	構成(%)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	平成24年度決算について
人件費	72%	1,306	994	557	住民1人当たり(円) 14.37
事業費	28%	391	386	557	1世帯あたり(円) 31.70
他部門経費					人口 96,036
減価償却費					世帯数 43,533
合計	100%	1,697	1,380	557	平成24年4月1日現在の 住民基本台帳と外国人登録の合計
国費					特記事項・備考
県費					
市債					
その他					
一般財源	100%	1,697	1,380	557	
合計	100%	1,697	1,380	557	
活動費	50%	0.20	0.10	0.10	
嘱託・臨職等	50%	0.20	0.10	0.10	
(人)合計	100%	0.20	0.20	0.00	

4 平成24年度の実施内容

24年度目標	公民館事業で委託の範囲を拡大した。民間事業者による事業実施に対する評価をこの審議会で行う。
(1) 平成24年度の実施内容(実績値、達成状況、事業費(決算)の内訳など)	事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください
	公民館運営審議会 2回開催
(2) 平成24年度の改善内容	民間事業者による公民館事業に対しては、概ね、良い評価をいただいた。

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 事業実施に妥当性があるか (複数回答可)

事業の主目的は明確である 事業成果が上位施策に不可欠または貢献度が高い 貢献度が不明確、または高くない

理由

(2) 市が実施すべきものか、民間で対応可能か。

市が行うもの 民間で対応可能 他団体では見直しがされている

理由

(3) 目標に対して達成できたか。

達成した 概ね達成した 一部達成した ほとんど達成していない

理由

(4) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。

改善の余地がある ある程度改善の余地がある ほとんど改善の余地はない

理由

6 課題への対応・方向性

(1) 現在認識している課題	部長名 中村 尚代 民間委託化した公民館事業について審議 いただいたと認識しています。 今後は、指定管理化を目指すところの観 点からの公民館事業についても、ご意見 をいただきたいと考えます。
(2) 市民、関係者からの要望等	
誰から	内容
(3) 平成25年度の目標・改善内容(数値目標含む)	公民館運営審議会で、民間事業者による事業に対する評価をしていただく。
(4) 平成26年度以降の改善・方向性	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合

事務事業評価票(平成24年度決算評価)

平成 25 年 5 月 31 日 現在

1 事務事業の基本情報

事務事業名	公民館図書室の運営		事務事業番号	1021130
総合計画 基本計画 画 画 系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	担当部課名 社会教育部公民館
	目標とする10年 後の戸屋の姿	2	多様な文化・スポーツ・芸術・伝統が交流するまち で、戸屋の文化があふれている	
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある	課長名 高田
事務の区分	自治事務	実施期間	昭和42年度～	
実施区分	直営	会計区分	一般会計	
根拠法令等	社会教育法(第20条及び第22条)、公民館図書室運営要綱、戸屋市立公民館設置条例(第3条)			

2 事務事業の概要等

事務事業の 目的 対象・意図	対象	公民館図書室の利用者		
	意図	生涯学習並びに教養の向上の支援。		
大きな目的	生涯学習の推進を図る			
全体概要	□公民館の施設としての図書室を整備し、図書館との連携を図って運営を行う。			
委託・指定管理者 制度の導入等	<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度を導入	委託先等の名称	
委託内容等				
産学協働連携 をしていますか	<input type="checkbox"/> 連携あり	<input type="checkbox"/> 連携なし	連携先	

3 事務事業の経費

事業費	構成(%)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	平成24年度決算について	
内訳 (千円)	人件費	67%	3,767	3,517	住民1人当たり(円)	54.51
	事業費	33%	1,667	1,718	1世帯あたり(円)	120.25
	他部門経費				人口	96,036
	減価償却費				世帯数	43,533
合計	100%	5,434	5,235	1,740	平成24年4月1日現在の 住民基本台帳と外国人登録の合計	
財源 (千円)	国費				特記事項・備考	
	市債					
	その他					
一般財源	100%	5,434	5,235	1,740		
合計	100%	5,434	5,235	1,740		
活動 配分 (人)	職員	9%	0.15	0.10		
	嘱託・臨職等	91%	1.00	1.00		
	合計	100%	1.15	1.10	0.00	

4 平成24年度の実施内容

24年度目標	市民が利用しやすい環境を整える。
(1) 平成24年度の実施内容(実績値, 達成状況, 事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。 単位(例:人, 千円など)は、必ず明示してください	
貸出利用者数 12,485人(対前年比 104%) 貸出利用冊数 34,501冊(対前年比 100%) 蔵書総冊数 25,587冊(成人 19,840冊 児童 5,747冊) 図書受入冊数 965冊(成人 743冊 児童 222冊) 図書除籍冊数 829冊(成人 638冊 児童 191冊) 登録者数 92人 紙芝居保有数 561冊	
(2) 平成24年度の改善内容 利用者数が増えた。 単位(例:人, 千円など)は、必ず明示してください。	

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 事業実施に妥当性があるか (複数回答可)	
<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である	<input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠または貢献度が高い
<input type="checkbox"/> 貢献度が不明確、または高くない	
理由	
(2) 市が実施すべきものか、民間で対応可能か。	
<input type="checkbox"/> 市が行うもの	<input checked="" type="checkbox"/> 民間で対応可能
<input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている	
理由	
(3) 目標に対して達成できたか。	
<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 概ね達成した
<input type="checkbox"/> 一部達成した	<input type="checkbox"/> ほとんど達成していない
理由	
(4) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	
<input type="checkbox"/> 改善の余地がある	<input type="checkbox"/> ある程度改善の余地がある
<input checked="" type="checkbox"/> ほとんど改善の余地はない	
理由	

6 課題への対応・方向性

(1) 現在認識している課題 図書館本館との連携	部長名 中村 尚代 安定した利用があり、評価します。 効果的な運営を目指し、公立図書館との 相互関係など、図書室のありかたについ ての検討を要すると認識しています。
(2) 市民、関係者からの要望等	
誰から	内容
(3) 平成25年度の目標・改善内容(数値目標含む) 市民が利用しやすい環境を整える。	
(4) 平成26年度以降の改善・方向性 指定管理者制度導入に向けた調査研究を行い、導入を進める。	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合

事務事業評価票(平成24年度決算評価)

1 事務事業の基本情報 平成 25 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	常設展示事業・公民館ギャラリー		事務事業番号	1021140
総合計 画策 体系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	担当部課名 社会教育部公民館
	目標とする10年 後の芦屋の姿	2	多様な文化・スポーツ・芸術・伝統が交流するまち で、芦屋の文化があふれている	
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある	課長名 高田
事務の区分	自治事務	実施期間	昭和42年度～	
実施区分	直営	会計区分	一般会計	
根拠法令等	社会教育法(第20条及び第22条)、芦屋市立公民館設置条例(第3条)			

2 事務事業の概要等

事務事業の 目的 対象・意図	対象	学習成果の発表の場を求めている人
	意図	市民に学習成果の発表の場を提供すると共に文化意識の向上を図る。
大きな目的	生涯学習の推進を図る	
全体概要	□市民の学習成果の発表の場として、常設展示場でテーマを設定した展示を行う。	
委託・指定管理者 制度の導入等	<input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度を導入	委託先等の名称
委託内容等		
産学協働連携 をしていますか	<input type="checkbox"/> 連携あり <input type="checkbox"/> 連携なし	連携先

3 事務事業の経費

事業費	構成(%)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	平成24年度決算について
人件費	76%	1,398	1,068		住民1人当たり(円) 12.11
事業費	24%	44	95	75	1世帯あたり(円) 26.72
他部門経費					人口 96,036
減価償却費					世帯数 43,533
合計	100%	1,442	1,163	75	平成24年4月1日現在の 住民基本台帳と外国人登録の合計
国費					特記事項・備考
市債					
その他		200	204		
一般財源	100%	1,242	959	75	
合計	100%	1,442	1,163	75	
活動費	55%	0.25	0.05		
嘱託・臨職等	45%		0.20		
(人)合計	100%	0.25	0.25	0.00	

4 平成24年度の実施内容

24年度目標	年間を通じて常設展示場で常時、展示をしている状況を保つよう、利用方法などの啓発を行う。	
(1) 平成24年度の実施内容(実績値、達成状況、事業費(決算)の内訳など)	事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください	
常設展示	みんなで考えよう平和展	7/21～8/15
	芦屋川の文化的景観&芦屋川の自然展	8/17～9/3
	「海をめぐる芦屋の古代と平清盛の時代」展	10/17～11/5
	ラジオ関西開局60周年記念「『電リク』再び」展	1/11～2/10
	「芦屋川スケッチ散歩」(第1部芦屋川上流風景)展	2/20～2/25
	「芦屋川スケッチ散歩」(第2部芦屋川上流風景)展	2/27～3/4
公民館ギャラリー 20グループ		
(2) 平成24年度の改善内容	単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください。	
利用するグループが増えた。 市民センターのルナ・ホール事業と関連した展示(「電リク」再び)を実施し、イベントを盛り上げた。		

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 事業実施に妥当性があるか (複数回答可)

事業の主目的は明確である 事業成果が上位施策に不可欠または貢献度が高い 貢献度が不明確、または高くない

理由

(2) 市が実施すべきものか、民間で対応可能か。

市が行うもの 民間で対応可能 他団体では見直しがされている

理由

(3) 目標に対して達成できたか。

達成した 概ね達成した 一部達成した ほとんど達成していない

理由

(4) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。

改善の余地がある ある程度改善の余地がある ほとんど改善の余地はない

理由

6 課題への対応・方向性

(1) 現在認識している課題

平成25年度から民間事業者に事業を委託した。

部長名 中村 尚代

平成25年度から、新たに民間事業者に委託しましたが、実施にあたってはこの事業においても、公的な公民館事業としての意向に即しているかなど、内容の十分な点検が必要と考えます。

(2) 市民、関係者からの要望等

誰から	内容

(3) 平成25年度の目標・改善内容(数値目標含む)

民間事業者による円滑な事業実施

(4) 平成26年度以降の改善・方向性

本市にふさわしい事業を民間事業者によって実施する。

拡大・充実 現状維持
 見直し 民間委託
 廃止・統合

事務事業評価票(平成24年度決算評価)

平成 25 年 5 月 31 日 現在

1 事務事業の基本情報

事務事業名	公民館音楽会			事務事業番号	1021150
総合計画 基本計画 体系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	担当部課名	社会教育部公民館
	目標とする10年 後の戸屋の姿	2	多様な文化・スポーツ・芸術・伝統が交流するまち で、戸屋の文化があふれている		
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある	課長名	高田
事務の区分	自治事務		実施期間		
実施区分	委託		会計区分	一般会計	
根拠法令等	社会教育法(第20条及び第22条)、戸屋市立公民館設置条例(第3条)				

2 事務事業の概要等

事務事業の 目的・意図 対象	対象	音楽会の鑑賞者			
	意図	市民の参画により、さまざまな音楽を聴き情操を高める。			
大きな目的	意図	市民の参画により、さまざまな音楽を聴き情操を高める。			
	大きな目的	生涯学習の推進を図る			
全体概要	意図	市民の参画により、さまざまな音楽を聴き情操を高める。			
	全体概要	□土曜日に公民館音楽室を中心に音楽会を開催する。			
委託・指定管理者 制度の導入等	<input checked="" type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度を導入	委託先等の名称	河内厚郎事務所	
委託内容等	公民館音楽会の企画、運営、料金収納				
産学協働連携 をしていますか	<input type="checkbox"/> 連携あり	<input type="checkbox"/> 連携なし	連携先		

3 事務事業の経費

事業費	構成(%)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	平成24年度決算について	
内訳 (千円)	人件費	69%	2,129	1,068	住民1人当たり(円)	16.19
	事業費	31%	542	487	1世帯あたり(円)	35.72
	他部門経費				人口	96,036
	減価償却費				世帯数	43,533
合計	100%	2,671	1,555	500	平成24年4月1日現在の 住民基本台帳と外国人登録の合計	
財源 (千円)	国費				特記事項・備考	
	県費					
	市債					
	その他	10%	686	161		
一般財源	90%	1,985	1,394	500		
合計	100%	2,671	1,555	500		
活動 配分 (人)	職員	20%	0.40	0.05		
	嘱託・臨職等	80%		0.20		
	合計	100%	0.40	0.25		0.00

4 平成24年度の実施内容

24年度目標	民間事業者による事業が適切に行われているかどうか、25年度の事業計画が適切に作成されているか注視し、評価する。
(1) 平成24年度の実施内容(実績値、達成状況、事業費(決算)の内訳など)	事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください
音楽室で5回開催 延べ参加人数 423人	
(2) 平成24年度の改善内容	単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください。
平成24年度から民間事業者に委託した。 参加者は減少したが、予定通り5回実施できた。	

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 事業実施に妥当性があるか (複数回答可)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠または貢献度が高い <input type="checkbox"/> 貢献度が不明確、または高くない
理由	
(2) 市が実施すべきものか、民間で対応可能か。	<input type="checkbox"/> 市が行うもの <input checked="" type="checkbox"/> 民間で対応可能 <input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている
理由	
(3) 目標に対して達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 概ね達成した <input type="checkbox"/> 一部達成した <input type="checkbox"/> ほとんど達成していない
理由	
(4) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	<input type="checkbox"/> 改善の余地がある <input type="checkbox"/> ある程度改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ほとんど改善の余地はない
理由	

6 課題への対応・方向性

(1) 現在認識している課題	民間事業者からの提案が本市の音楽会としてふさわしいものかどうかを判断できる市職員の育成と、事業を将来にわたって安定的に継続していくこと。
(2) 市民、関係者からの要望等	
誰から	内容
(3) 平成25年度の目標・改善内容(数値目標含む)	引き続き、民間委託により事業を実施していく。
(4) 平成26年度以降の改善・方向性	本市にふさわしく、また、市民に楽しんでいただける音楽会を民間事業者により実施する。

7 部長の2次評価

部長名	中村 尚代
評価内容	民間事業者のノウハウを生かし、市民に根ざした音楽会の実施に努めてください。課題とする職員の育成については、他市の事業運営や事業運営の研修を参考に、また関係者でのディスカッション等により資質の育成及び継承に努めてください。
評価結果	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合

事務事業評価票(平成24年度決算評価)

1 事務事業の基本情報 平成 25 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	阪神南青い鳥・くすの木学級の開催		事務事業番号	1021160
総合計画 基本計画 画 画 系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	担当部課名 社会教育部公民館
	目標とする10年 後の芦屋の姿	2	多様な文化・スポーツ・芸術・伝統が交流するまちで、芦屋の文化があふれている	
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある	課長名 高田
事務の区分	自治事務	実施期間	昭和49年度～	
実施区分	直営	会計区分	一般会計	
根拠法令等	社会教育法(第20条及び第22条)、芦屋市立公民館設置条例			

2 事務事業の概要等

事務事業の 目的 対象・意図	対象	阪神南3市の視覚・聴覚言語障がい者		
	意図	阪神南3市の視覚・聴覚言語障がい者の交流。		
大きな目的	障がい者の地域、年齢を超えた交流を図る			
全体概要	□阪神南3市(芦屋市・尼崎市・西宮市)の視覚・聴覚言語障がい者を対象にした学級を3市で開催			
委託・指定管理者 制度の導入等	<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度を導入	委託先等の名称	
委託内容等				
産学協働連携 をしていますか	<input type="checkbox"/> 連携あり	<input checked="" type="checkbox"/> 連携なし	連携先	

3 事務事業の経費

事業費	構成(%)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	平成24年度決算について
人件費	100%	2,496	787		住民1人当たり(円) 8.19
事業費					1世帯あたり(円) 18.08
他部門経費					人 口 96,036
減価償却費					世 帯 数 43,533
合計	100%	2,496	787	0	平成24年4月1日現在の 住民基本台帳と外国人登録の合計
国費					特記事項・備考
県費					
市債					
その他					
一般財源	100%	2,496	787		
合計	100%	2,496	787	0	
活動費	33%	0.35	0.05		
嘱託・臨職等	67%		0.10		
(人)合計	100%	0.35	0.15	0.00	

4 平成24年度の実施内容

24年度目標	県の委託事業であるが、他の講座と同様民間委託が可能を検討する。
(1) 平成24年度の実施内容(実績値、達成状況、事業費(決算)の内訳など) 事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください	県からの委託事業 平成24年度、阪神南青い鳥学級は尼崎市が、阪神南くすの木学級は西宮市が担当した。
(2) 平成24年度の改善内容	単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください。 平成25年度に民間委託を実施することにした。

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 事業実施に妥当性があるか (複数回答可)

事業の主目的は明確である 事業成果が上位施策に不可欠または貢献度が高い 貢献度が不明確、または高くない

理由

(2) 市が実施すべきものか、民間で対応可能か。

市が行うもの 民間で対応可能 他団体では見直しがされている

理由

(3) 目標に対して達成できたか。

達成した 概ね達成した 一部達成した ほとんど達成していない

理由

(4) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。

改善の余地がある ある程度改善の余地がある ほとんど改善の余地はない

理由

6 課題への対応・方向性

(1) 現在認識している課題 参加者が限られている。	部長名 中村 尚代 本事業は、福祉的要素のある事業のため、民間委託者による実施においては、事業の趣旨を十分理解した上で、これまでの事業の質の低下を招かないよう、配慮が必要と考えます。課題とする参加者については、啓発を含め、工夫を要するものと考えます。
(2) 市民、関係者からの要望等	
誰から	内容
(3) 平成25年度の目標・改善内容(数値目標含む) 民間事業者による運営が円滑に実施されること。	
(4) 平成26年度以降の改善・方向性 指定管理者制度導入に向けた調査研究を行い、導入を進める。	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合

事務事業評価票(平成24年度決算評価)

1 事務事業の基本情報		平成 25 年 5 月 31 日 現在	
事務事業名	青少年愛護センター運営	事務事業番号	1042030
総合計画 基本計画 画 画 系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる
	目標とする10年 後の声屋の姿	4	子どもたちが社会へ羽ばたけるようたくましく育て ている
	施策目標	4-2	青少年が社会で自立するための力を身につけて いる
事務の区分	自治事務	実施期間	昭和36年度～
実施区分	直営、委託	会計区分	一般会計
根拠法令等	兵庫県青少年愛護条例、芦屋市立青少年愛護センターの設置及び管理に関する条例、芦屋市立青少年愛護センター運営 連絡会設置規則		

2 事務事業の概要等

事務事業の 目的 対象・意図	対象	青少年	
	意図	青少年の非行防止を推進し、健全育成を図りながら育成愛護活動を推し進める。 街頭巡視活動によるパトロールや声かけなど、青少年の非行防止や地域の環境浄化活動を行うことにより青少年の健全育 成を目指す。	
大きな目的	青少年の健全育成が図られる。		
全体概要	<input type="checkbox"/> 青少年愛護センター運営連絡会の開催 <input type="checkbox"/> 青色回転灯付パトロール車によるパトロール <input type="checkbox"/> 愛護委員街頭巡視活動 <input type="checkbox"/> 愛護委員の見識を高めるための研修会の実施 <input type="checkbox"/> 有害環境の浄化(白ポストの回収、書店・ビデオ店・量販店等訪問指導) <input type="checkbox"/> 広報・啓発活動(愛護班ニュース・愛護だよりの発行、ホームページの更新等) <input type="checkbox"/> 相談窓口の開設(電話相談、来所相談) <input type="checkbox"/> 中学校区青少年健全育成推進会議の運営及び調整 <input type="checkbox"/> 関係機関、団体との協力・連携 <input type="checkbox"/> 青少年の健全育成に関する啓発冊子等の発行		
委託・指定管理者 制度の導入等	<input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者制度を導入	委託先等の名称	芦屋市青少年育成愛護委員会
委託内容等	青少年育成街頭巡視活動		
産学協働連携 をしていますか	<input type="checkbox"/> 連携あり <input checked="" type="checkbox"/> 連携なし	連携先	

3 事務事業の経費

事業費	構成(%)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	平成24年度決算について	
内訳 (千円)	人件費	86%	30,627	28,182	住民1人当たり(円)	341.29
	事業費	14%	4,563	4,594	1世帯あたり(円)	752.90
	他部門経費				人 口	96,036
	減価償却費				世 帯 数	43,533
合 計	100%	35,190	32,776	4,485	平成24年4月1日現在の 住民基本台帳と外国人登録の合計	
財 源 (千円)	国 費				特記事項・備考	
	県 費		456			
	市 債					
	そ の 他					
一般財源	100%	34,734	32,776	4,485		
合 計	100%	35,190	32,776	4,485		
活動 配分 (人)	職 員	100%	3.00	5.00		
	嘱託・臨職等					
	合 計	100%	3.00	5.00	0.00	

4 平成24年度の実施内容

24年度目標	<input type="checkbox"/> 県下の補導委員が集まり大会・研修会を開催する。 <input type="checkbox"/> 阪神南地区の補導委員、愛護委員が集まり、各地区の意見交換・情報交換を行う。 <input type="checkbox"/> 青少年が有害な環境から守るための啓発や情報提供を行う。
(1) 平成24年度の実施内容(実績値、達成状況、事業費(決算)の内訳など)	事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。 単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください <input type="checkbox"/> 青少年愛護センター運営連絡会の開催 (90千円) ・5月31日、1月31日に開催した。 <input type="checkbox"/> 青色回転灯装備車による下校時の安全パトロール(96千円) <input type="checkbox"/> 山中校区内小学校下校時の安全パトロールを週3回(月・水・金)実施した。 <input type="checkbox"/> 愛護委員街頭巡視活動 (3,352千円) <input type="checkbox"/> ・8班(小学校区単位)の巡視を年間延べ503回実施した(参加人数は延べ2,810人)。 <input type="checkbox"/> 愛護委員の見識を高めるための研修会等の実施 (137千円) ・声かけの実際、市内合同パトロール等を開催した。 <input type="checkbox"/> 有害環境の浄化 (0円) ・白ポストに投函された有害図書等を回収した。 ・書店・ビデオ店・量販店等を訪問し、協力依頼を行った。 <input type="checkbox"/> 広報・啓発活動 (341千円) ・「愛護班ニュース(毎月)」「愛護だより(年8回)」「愛護だより 乳幼児編(年3回)」を配布した。 <input type="checkbox"/> ・保護者に向けた冊子や啓発グッズを作成。それらを利用して非行の早期発見や健全育成に関する啓発を実施した。 <input type="checkbox"/> 相談業務 (0円) ・年間相談件数17件。 <input type="checkbox"/> 中学校区青少年健全育成推進会議(中青健) (137千円) ・中青健合同研修会を愛護委員研修会と合同で実施した。 <input type="checkbox"/> 関係機関、団体等との連携、愛護センター運営に係る消耗品等 (510千円) <input type="checkbox"/> 兵庫県補導委員連合会大会・研修会の開催
(2) 平成24年度の改善内容	単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください。 兵庫県補導委員連合会大会・研修会を開催し県内各補導委員や補導センターとの連携を強化した。 青色回転灯装着車による下校時のパトロールを体制面も含め充実させた。

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 事業実施に妥当性があるか(複数回答可)	<input type="checkbox"/> 事業の主目的は明確である <input checked="" type="checkbox"/> 事業成果が上位施策に不可欠または貢献度が高い <input type="checkbox"/> 貢献度が不明確、または高くない
理 由	非行防止はもちろんのこと、地域が見守る中での健全育成ということの意義は大きい。
(2) 市が実施すべきものか、民間で対応可能か。	<input checked="" type="checkbox"/> 市が行うもの <input type="checkbox"/> 民間で対応可能 <input type="checkbox"/> 他団体では見直しがされている
理 由	行政と地域が連携して実施することでより効果が見込まれる。
(3) 目標に対して達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 概ね達成した <input type="checkbox"/> 一部達成した <input type="checkbox"/> ほとんど達成していない
理 由	限られた職員で愛護委員活動をサポートすることができた。
(4) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。	<input type="checkbox"/> 改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> ある程度改善の余地がある <input type="checkbox"/> ほとんど改善の余地はない
理 由	センター機能の充実やセンター活動内容の周知や発信については改善の余地はあるが、一方で活動の継続性も重要である。

6 課題への対応・方向性

(1) 現在認識している課題	・相談窓口としての周知が不十分。 ・事務室としての機能にとどまらないセンター運営の展開が求められている。	部長名 中村 尚代 愛護委員や愛護協会も年々増加し、安定した活動ができていると評価します。 相談事業についても、今後も継続的に効果が挙げられるよう体制等を計画的に整備すること。また、今後青少年育成課で始める子ども若者相談との連携も可能な仕組みの必要性からも事務室とのかわりとして検討が求められます。
(2) 市民、関係者からの要望等	誰から	内 容
(3) 平成25年度の目標・改善内容(数値目標含む)	活動の内容の発信の強化。	
(4) 平成26年度以降の改善・方向性	センター機能の充実。相談体制の充実	
	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合	

事務事業評価票(平成24年度決算評価)

1 事務事業の基本情報 平成 25 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	図書館運営事業(収集整理利用)		事務事業番号	1021170
総合計 画 策 体 系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	担当部課名 社会教育部図書館
	目標とする10年 後の芦屋の姿	2	多様な文化・スポーツ・芸術・伝統が交流するまち で、芦屋の文化があふれている	
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある	課長名 木村 守彦
事務の区分	自治事務	実施期間	昭和24年度～	
実施区分	直営、委託	会計区分	一般会計	
根拠法令等	図書館法、図書館設置条例			

2 事務事業の概要等

対象	芦屋市在住・在勤・在学者、阪神7市1町在住者			
事務事業の目的 対象・意図	市民等利用者に対し、資料を収集・整理・保存して利用に供し、調査研究、レクリエーションに活用してもらい、市民の福祉・文化向上に寄与する。			
大きな目的	図書館からの幅広い学習機会の提供により、住民の生涯学習を支援していく。			
全体概要	<input type="checkbox"/> 施設の維持管理 <input type="checkbox"/> 資料の収集(選書・発注・受入・装備・整理・保存)、利用、リクエスト <input type="checkbox"/> 相互利用、相互協力、障がい者奉仕、予約業務 <input type="checkbox"/> 参考調査相談業務 <input type="checkbox"/> 行事・催物を開催し、市民の教養・知的欲求に資す。 <input type="checkbox"/> 図書館だより「みんなの本棚」発行 <input type="checkbox"/> 図書館ホームページの運営 <input type="checkbox"/> 図書館協議会の運営 <input type="checkbox"/> 日本図書館協会等へ加盟			
委託・指定管理者 制度の導入等	<input checked="" type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度を導入	委託先等の名称	警備ひやく、芦屋図書館ボランティアの会
委託内容等	図書館本館は直営、大原分室は業者に運営委託、打出分室はボランティアに運営委託			
産学協働連携 をしていますか	<input type="checkbox"/> 連携あり	<input checked="" type="checkbox"/> 連携なし	連携先	

3 事務事業の経費

事業費	構成(%)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	平成24年度決算について
内訳(千円)					住民1人当たり(円) 2,488.43
人件費	51%	124,350	121,159		1世帯あたり(円) 5,489.61
事業費	41%	76,807	96,850	74,305	人口 96,036
他部門経費					世帯数 43,533
減価償却費	3%	20,970	20,970		平成24年4月1日現在の 住民基本台帳と外国人登録の合計
合計	100%	222,127	238,979	74,305	特記事項・備考
財源(千円)					
国費					
県費					
市債					
その他		5,455			
一般財源	100%	216,672	238,979	74,305	
合計	100%	222,127	238,979	74,305	
活動配分(人)					
職員	69%	12.92	13.60		
嘱託・臨職等	31%	5.82	6.00		
合計	100%	18.84	19.60	0.00	

4 平成24年度の実施内容

24年度目標	読書好きの子どもを増やし、将来の図書館利用者の拡大につなげていく。	
(1) 平成24年度の実施内容(実績値、達成状況、事業費(決算)の内訳など)	事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください	
決算内訳 単位:千円	01 図書館協議会経費 131 図書館協議会を2回開催した 02 一般事務費 31,252 コンピュータシステムの更新等 03 維持管理費 24,540 04 運営費 27,560 05 打出分室運営経費 1,905 打出分室運営ボランティアに関する経費等 06 大原分室運営経費 9,558 大原分室の委託料等 17 図書整備支援事業 1,904 図書の購入	
(2) 平成24年度の改善内容	単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください。	
	児童書の蔵書冊数が増加した。 平成23年度児童書蔵書冊数 85,805冊 平成24年度児童書蔵書冊数 86,846冊	

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 事業実施に妥当性があるか (複数回答可)

事業の主目的は明確である 事業成果が上位施策に不可欠または貢献度が高い 貢献度が不明確、または高くない

理由

(2) 市が実施すべきものか、民間で対応可能か。

市が行うもの 民間で対応可能 他団体では見直しがされている

理由

(3) 目標に対して達成できたか。

達成した 概ね達成した 一部達成した ほとんど達成していない

理由

(4) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。

改善の余地がある ある程度改善の余地がある ほとんど改善の余地はない

理由

6 課題への対応・方向性

(1) 現在認識している課題	読書による市民文化の向上をより一層推進する。	部長名 中村 尚代
(2) 市民、関係者からの要望等		子どもの読書離れを防止し、読書を推進する上において、児童図書の蔵書冊数が増加していることは有効であり、継続実施を要するものと考えます。
(3) 平成25年度の目標・改善内容(数値目標含む)	読書好きの子どもを増やすことにより、将来の図書館利用者の拡大につなげていく。	
(4) 平成26年度以降の改善・方向性	図書館所蔵の児童書の備みが進んできているため、引き続き児童書の買換えを進めていく。	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合

事務事業評価票(平成24年度決算評価)

1 事務事業の基本情報 平成 25 年 5 月 31 日 現在

事務事業名	図書館施設整備事業		事務事業番号	1021180
総合計画 基本計画 体系	まちづくりの 基本方針	1	人と人がつながって新しい世代につなげる	担当部課名 社会教育部図書館
	目標とする10年 後の戸屋の姿	2	多様な文化・スポーツ・芸術・伝統が交流するまちで、戸屋の文化があふれている	
	施策目標	2-1	市民が教養を高める機会が豊富にある	課長名 木村 守彦
事務の区分	自治事務	実施期間	平成21年度～	
実施区分	直営	会計区分	一般会計	
根拠法令等				

2 事務事業の概要等

対象	芦屋市在住・在勤・在学者、阪神7市1町在住者			
事務事業の目的・意図	市民等利用者に良好な施設環境を提供する。			
大きな目的	老朽化した施設及び設備の保全を行い、良好な施設環境を保持する。			
全体概要	老朽化した施設及び設備の改修・更新			
委託・指定管理者制度の導入等	<input type="checkbox"/> 委託	<input type="checkbox"/> 指定管理者制度を導入	委託先等の名称	
委託内容等				
産学協働連携を していますか	<input type="checkbox"/> 連携あり	<input checked="" type="checkbox"/> 連携なし	連携先	

3 事務事業の経費

事業費	構成(%)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(予算)	平成24年度決算について
内訳(千円)					住民1人当たり(円)
人件費	29%	3,370	3,509		126.46
事業費	68%	906	8,238	0	278.98
他部門経費	3%		398		
減価償却費					人口
合計	100%	4,276	12,145	0	96,036
財源(千円)					世帯数
国費					43,533
県費					平成24年4月1日現在の 住民基本台帳と外国人登録の合計
市債					特記事項・備考
その他					
一般財源	100%	4,276	12,145	0	
合計	100%	4,276	12,145	0	
活動配分(人)					
職員	100%	0.40	0.40		
嘱託・臨職等					
合計	100%	0.40	0.40	0.00	

4 平成24年度の実施内容

24年度目標	平成24年度の予定の工事を精査しながら、工事を事故なく実施する。
(1) 平成24年度の実施内容(実績値、達成状況、事業費(決算)の内訳など)	事業費(決算)の内訳は、必ず盛り込むこと。単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください
	書庫系統他空調設備改修工事 8,238,300円
(2) 平成24年度の改善内容	施設保全を実施した。単位(例:人、千円など)は、必ず明示してください。

5 担当課評価 (判断された理由を必ず記入してください。)

(1) 事業実施に妥当性があるか (複数回答可)

事業の主目的は明確である 事業成果が上位施策に不可欠または貢献度が高い 貢献度が不明確、または高い

理由

(2) 市が実施すべきものか、民間で対応可能か。

市が行うもの 民間で対応可能 他団体では見直しがされている

理由

(3) 目標に対して達成できたか。

達成した 概ね達成した 一部達成した ほとんど達成していない

理由

(4) 最少の経費で最大の効果をあげるための改善の余地があるか。

改善の余地がある ある程度改善の余地がある ほとんど改善の余地はない

理由

6 課題への対応・方向性

7 部長の2次評価

(1) 現在認識している課題	部長名 中村 尚代
修繕計画どおりの実施	施設に経年劣化が認められる中、限られた予算の中で、維持管理を適正に実施することは多大な労力と工夫が必要と認識し、その中で効率的な運営ができたと評価します。常に利用者にとって安全で安心して利用できる施設を基本におきながらも、数年来に長期保全計画における改修工事が予定されているため、突発的なものを除き、それらと時期を併せた計画的な維持管理に努めてください。
(2) 市民、関係者からの要望等	
誰から	内容
(3) 平成25年度の目標・改善内容(数値目標含む)	
(4) 平成26年度以降の改善・方向性	平成29年度の大規模改修に向けて良好な施設環境を維持するよう修繕計画を作成していく。
	<input type="radio"/> 拡大・充実 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 民間委託 <input type="radio"/> 廃止・統合